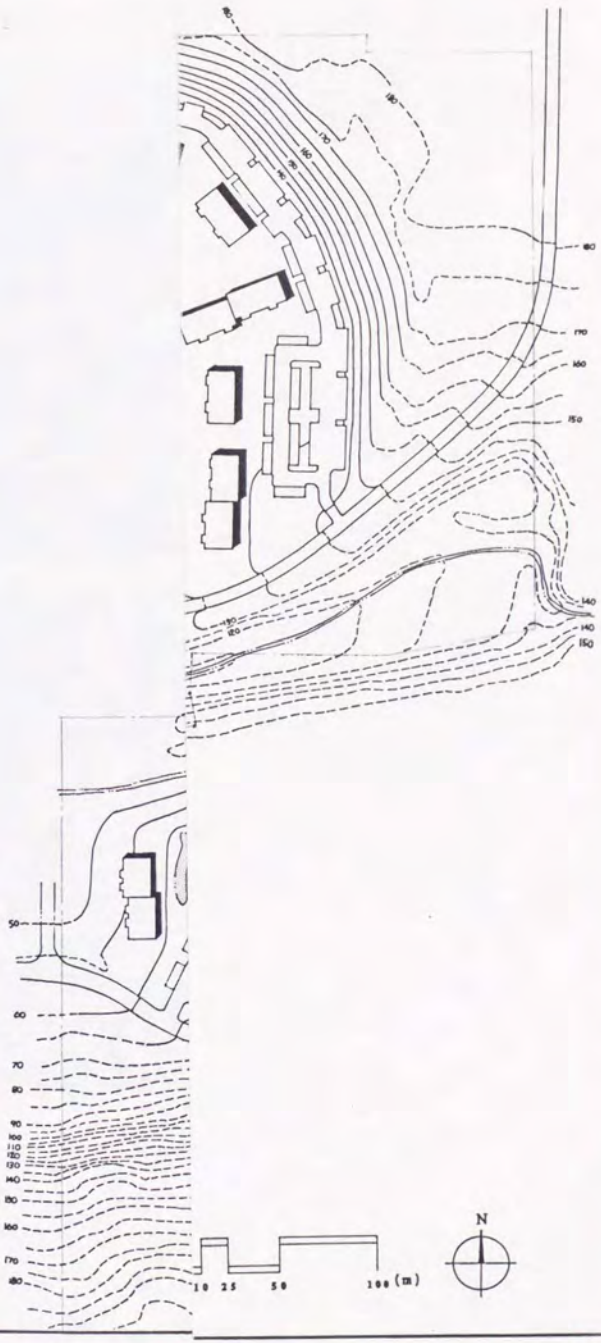
採石跡地における「土地再生」計画の事例に関する図版


50
60
70
80
90
100
110
120
130
140
150
160
170
180
10 25 50 100 (m)
N

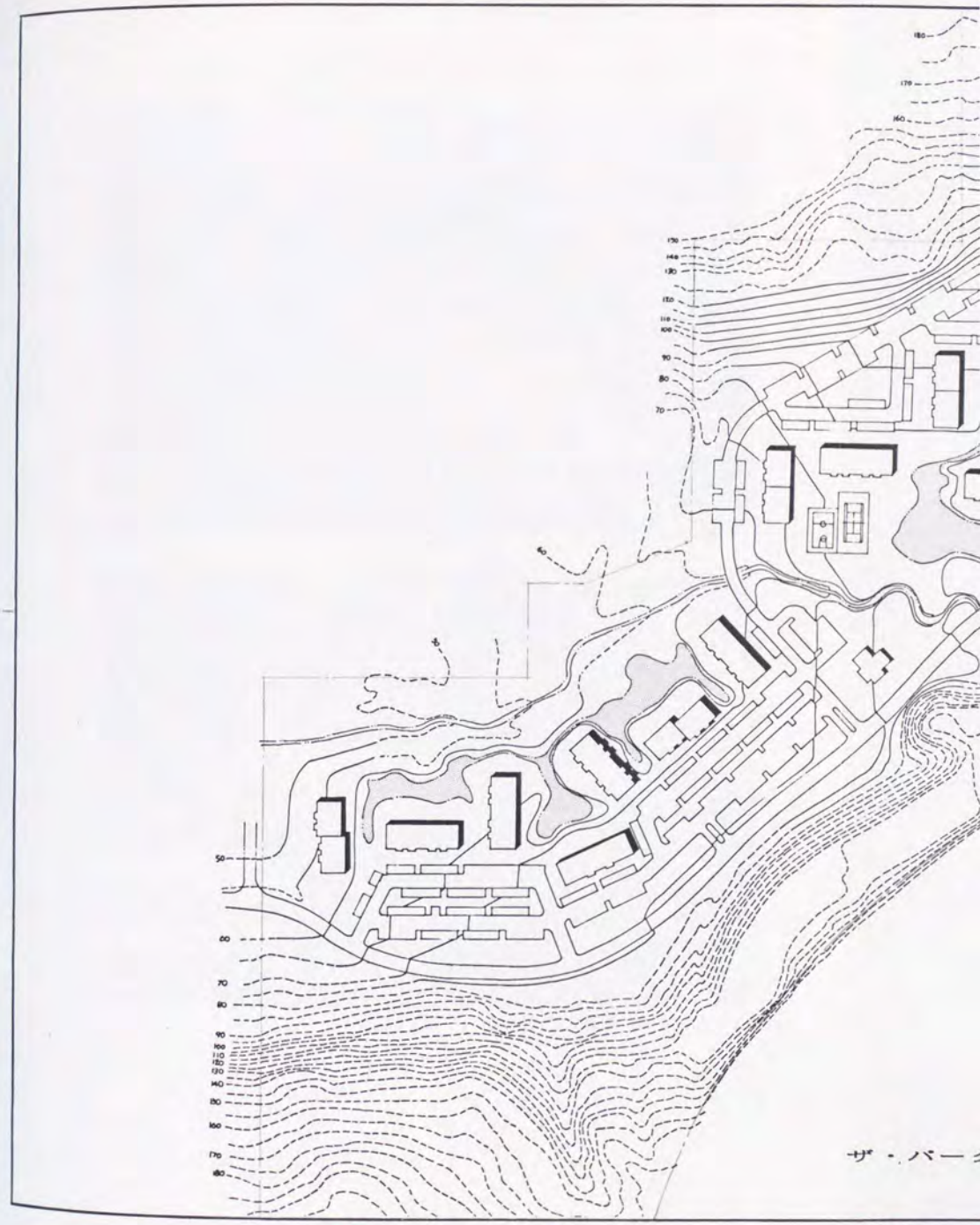


図 II B-1

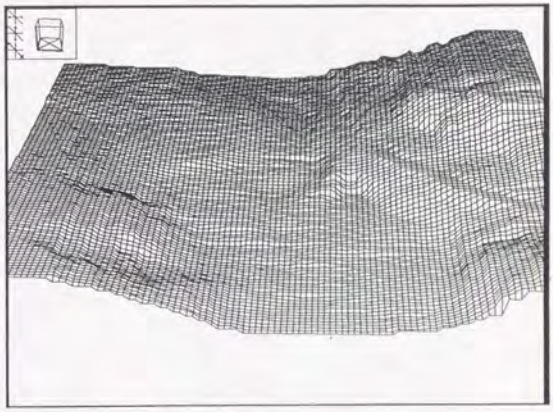
図ⅡB-1

Sultan
Monroe
Maltby
Kingston
Indianola
Edmonds
Lynnwood
Woodinville
Duvall
Redmond
Carnation
Bothell
SEATTLE
Bremerton
Port Orchard
Poulsbo
Silverdale
Seabeck
Holly
Eldon
Duckabush
Brinnon
Hoodsport
Lilliwaup
KITSAP
Belfair
Tahuya
Union
Allyn
Vashon
Des Moines
Kent
Renton
Issaquah
Fall City
Preston
Snoqualmie
North Bend
Cedar Grove
Maple Valley
Hobart
Cedar Falls
Landsburg
Selleck
Kanaskat
Palmer
Auburn
Black Diamond
Cumberland
Enumclaw
Buckley
Sumner
Puyallup
TACOMA
Fircrest
Steilacoom
Parkland
Spanaway
Orting
Wilkeson
Carbonado
Prairie
Matlock
Dayton
Shelton
MASON
McCleary
Elma
Olympia
Du Pont
Mason Lake
Cranberry Lake
Nahwatzel Lake
Hoodsport
Graham
McChord A.F.B.

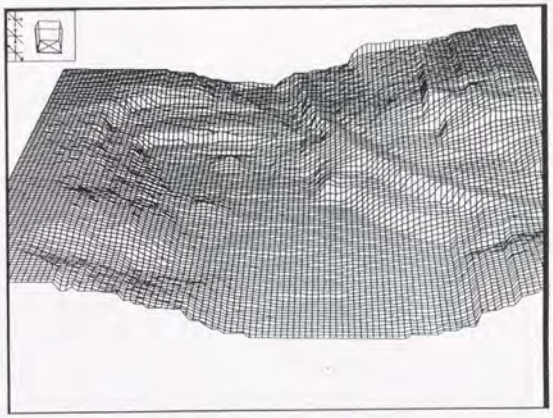
ザ・パーク

図ⅡB-2

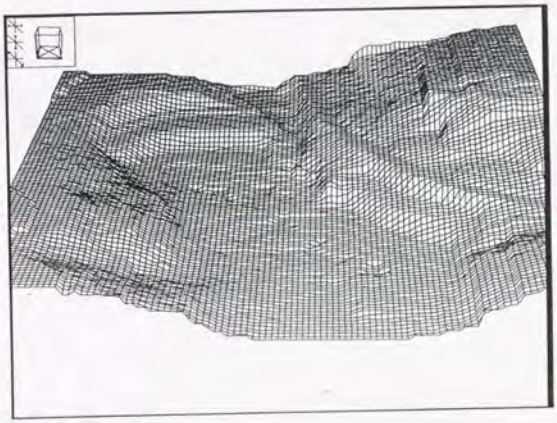
採石操業前



採石跡地

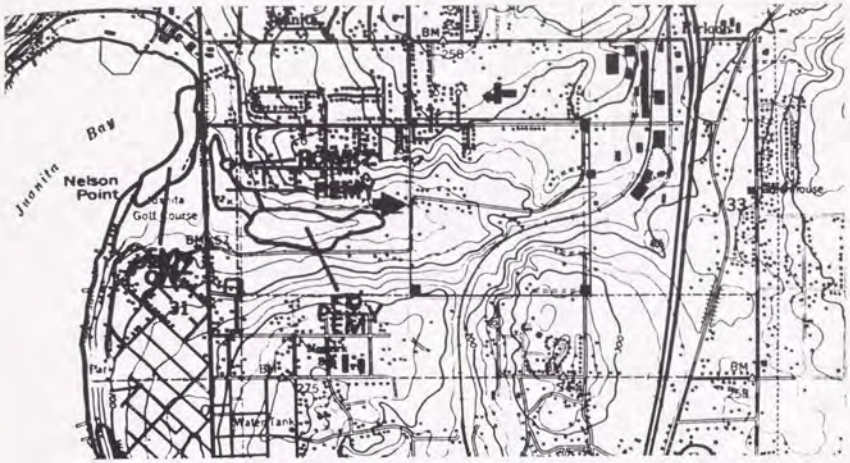


土地再生後

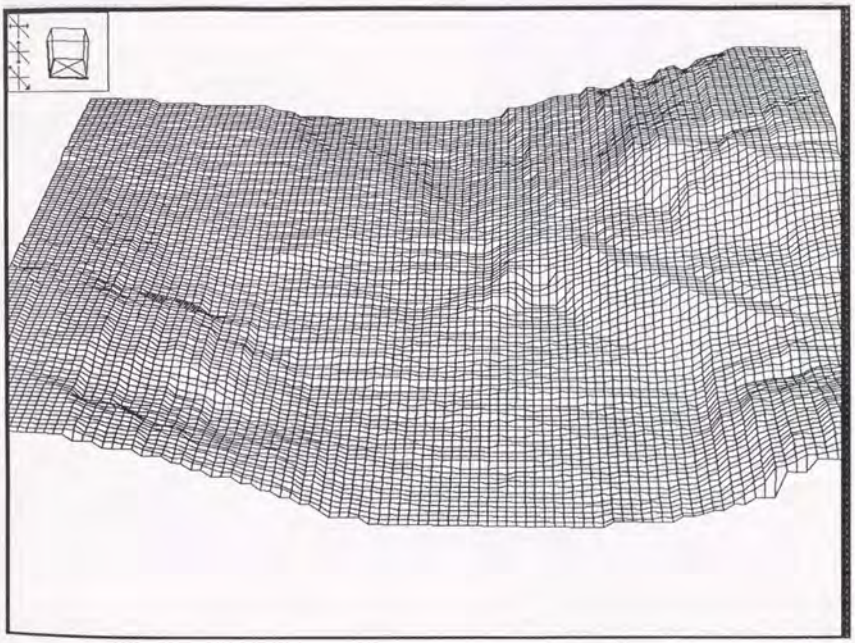


ザ・パーク

図ⅡB-3a



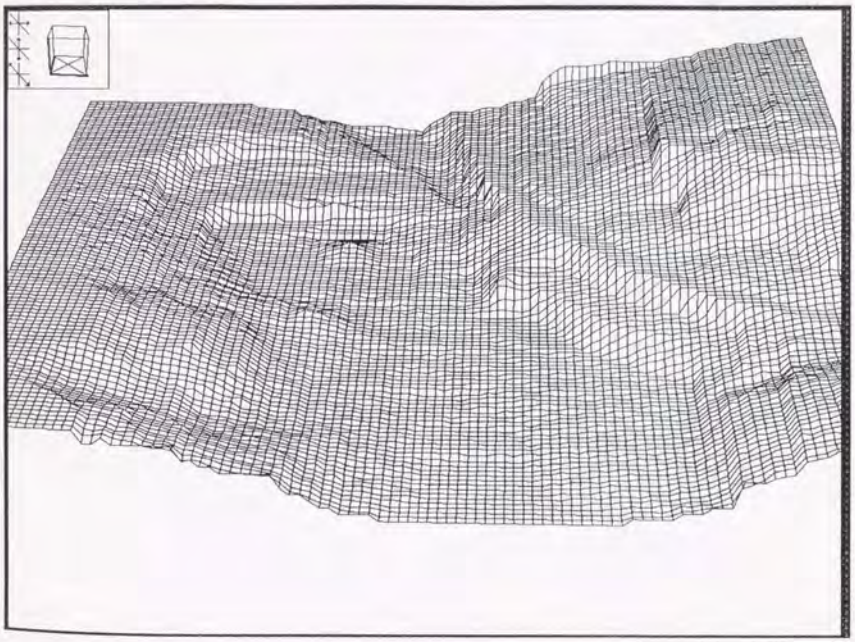
NWIM 1963 1 : 24000



ザ. パーク　採石操業前

図ⅡB-3b

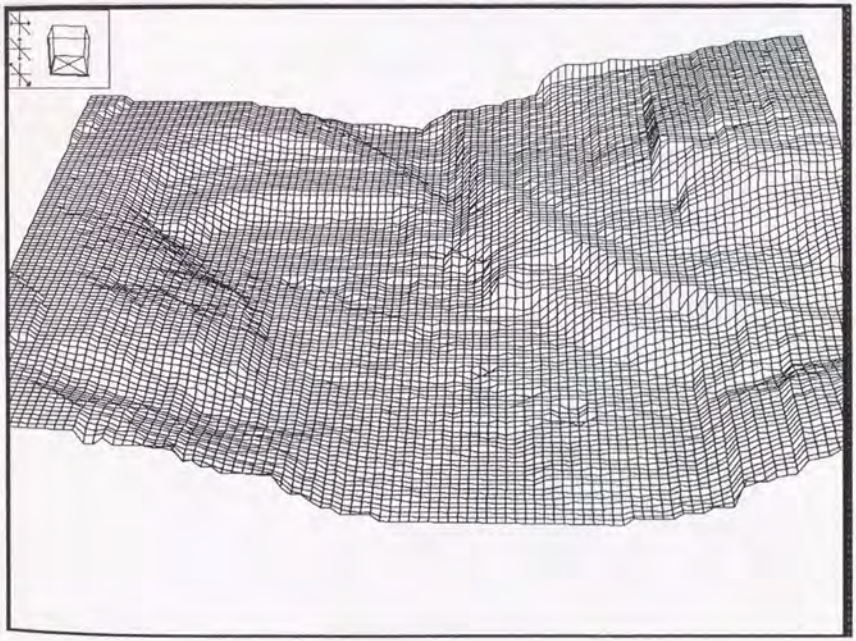
USGS 1973 1：24000



ザ・パーク　採石跡地

図ⅡB-3c

USGS 1973 + 土地再生平面図　　1：24000



ザ・パーク　土地再生後

図ⅡB-3d

a

地質分布図：敷地は南北に長い氷河礫石層の中にある

b

ワシントン州西海岸の氷河地形

図ⅡB-4

敷地南西側より北東をみる　　a

敷地東側より西側をみる　　採石操業中の敷地(1971)　　b

ザ・パーク

図 II B-5

敷地西側　フォーブス・クリーク・ドライブより東側の住棟群をみる　a

敷地東側　アッパーテラスより西にジュアニタ谷をのぞむ　b

ザ・パーク

図ⅡB-6

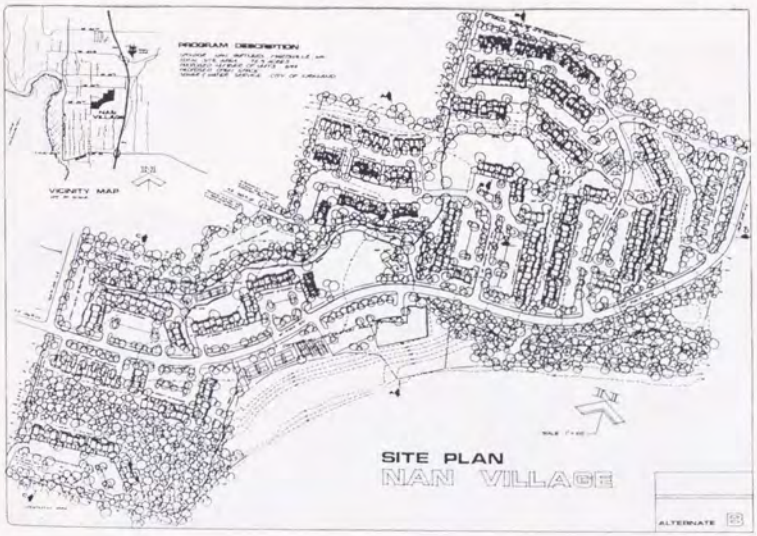
北側住宅地の貯水地　噴水は水質改善の機能をもつ　a

再生されたフォーブス渓流　　レクリエーション・エリア付近

ザ・パーク

図ⅡB-7

敷地内のフォーブス渓流の再生に関するサイン　a

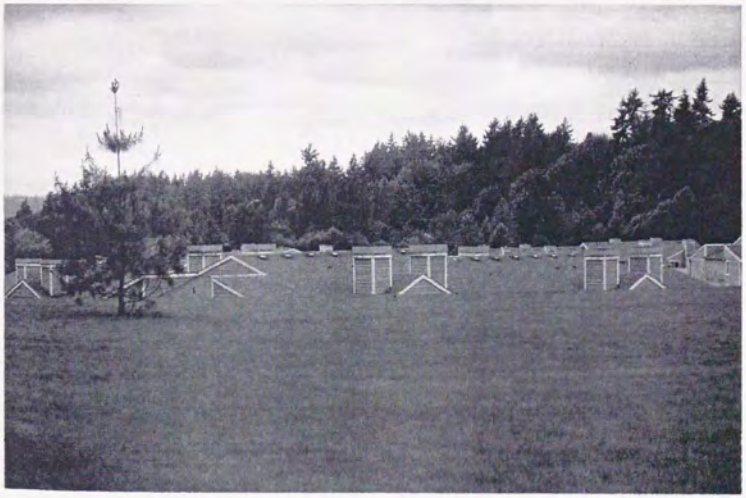


土地再生初期計画案　N. A. N. ビレッジ　b

ザ・パーク

図ⅡB-8

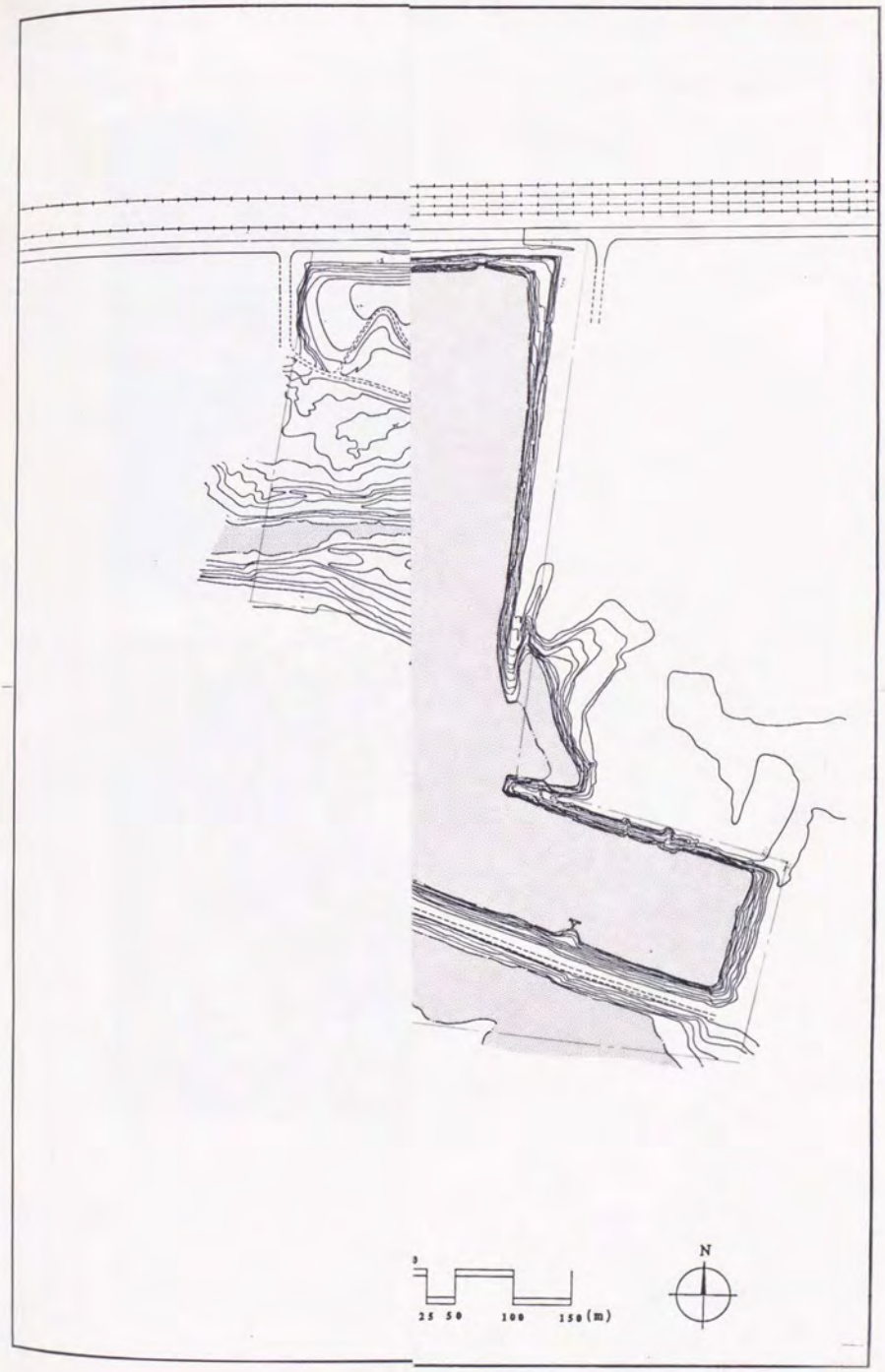
2．5：1に整地、植栽された切羽面　　a

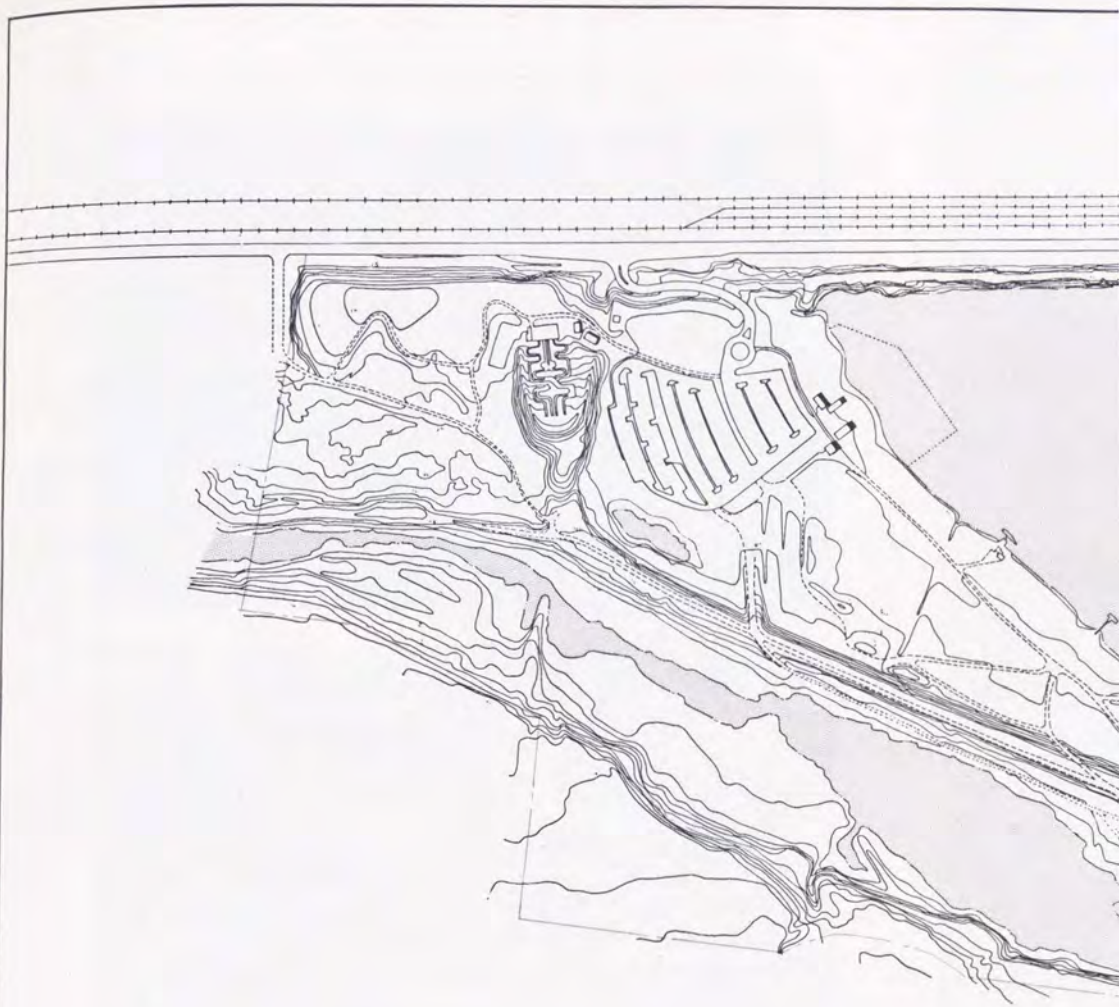


敷地東側のアッパー・テラスより西側をみる　　b

ザ・パーク

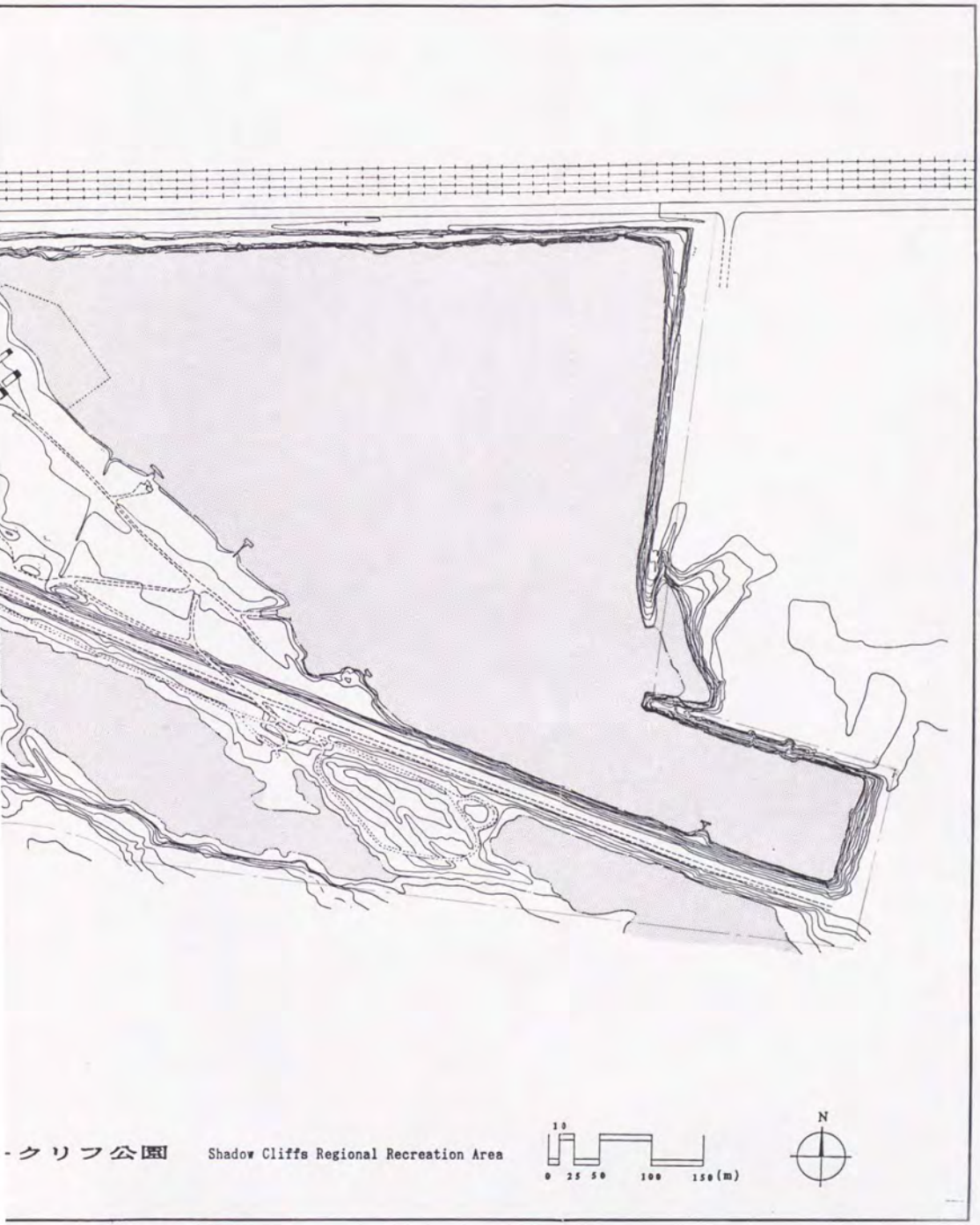
図ⅡB-9


0
25 50 100 150(m)
N

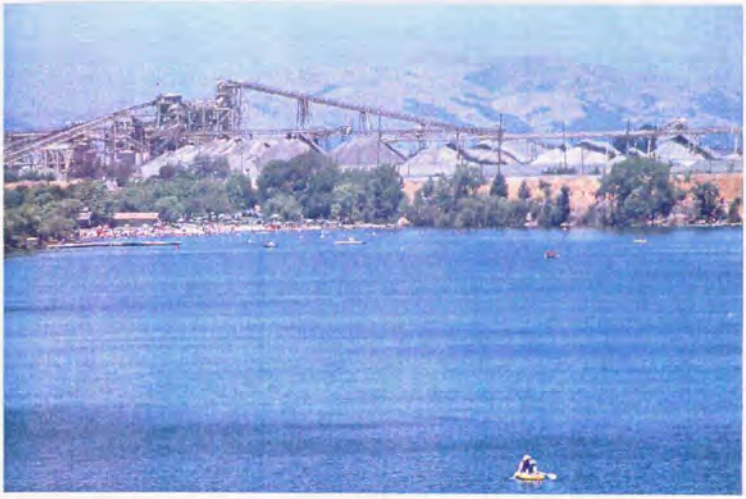


シャドークリフ公園　Shadow

図ⅡB-10


-クリフ公園
Shadow Cliffs Regional Recreation Area
10
0 25 50 100 150(m)
N

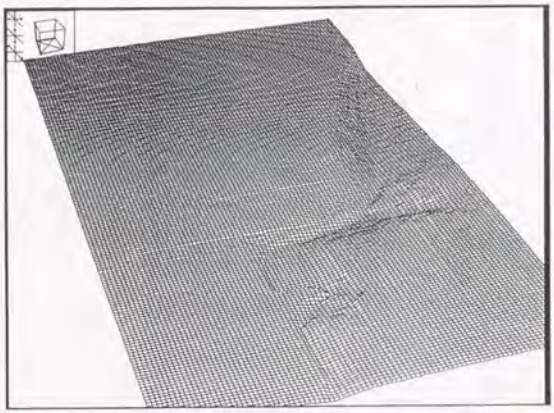
図ⅡB-10



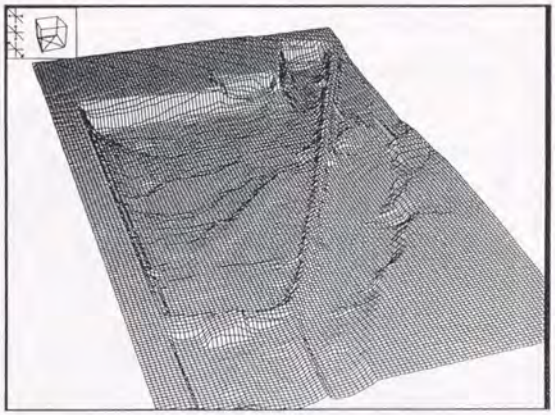
シャドークリフ公園

図 II B-11

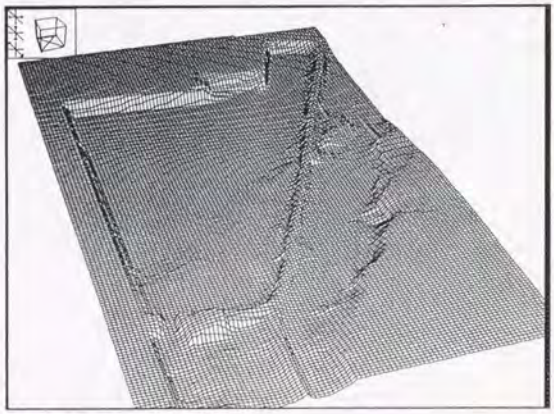
採石操業前



採石跡地



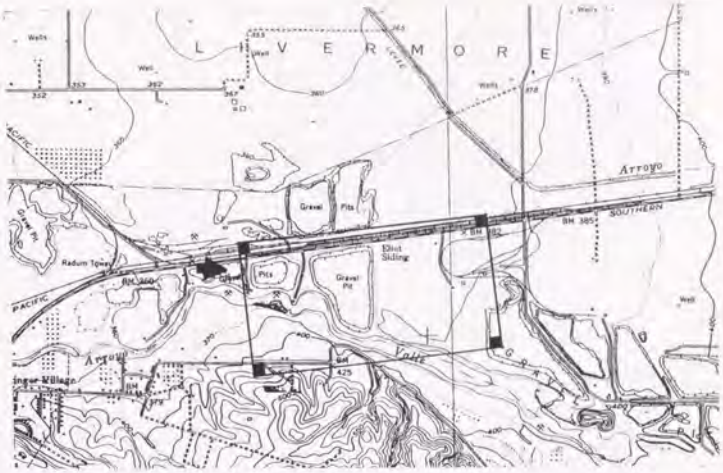
土地再生後



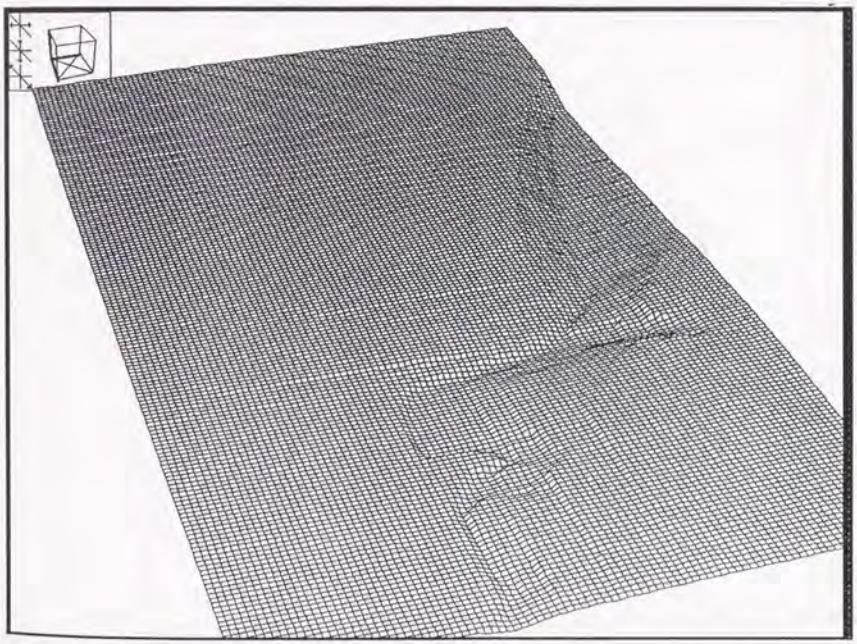
シャドークリフ公園

図ⅡB-12a

USGS
1952



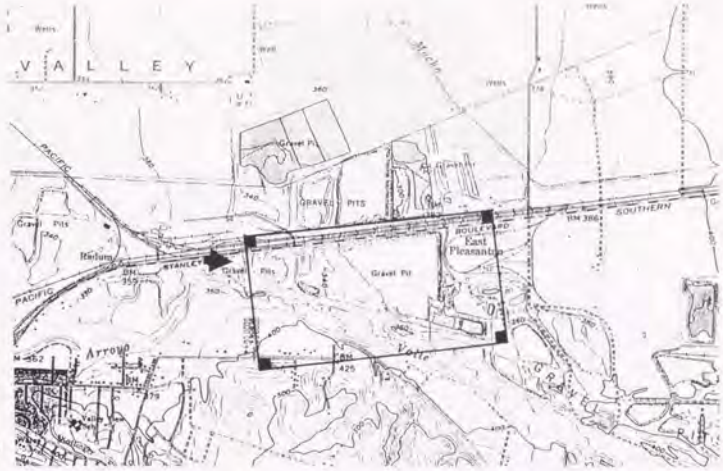
1：30000



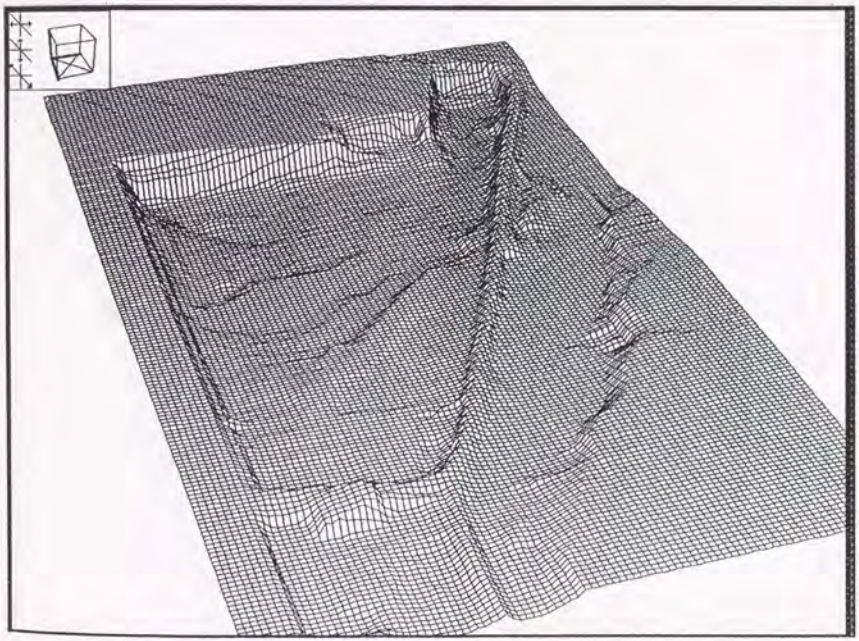
シャドークリフ公園　採石操業前

図ⅡB-12b

USGS
1968



1 : 30000

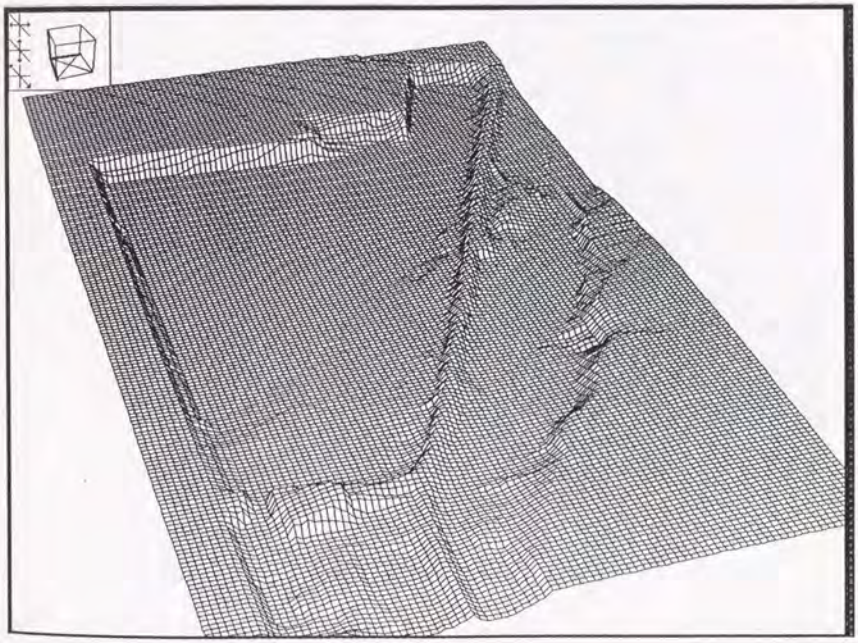


シャドークリフ公園 採石跡地

図ⅡB-12c

USGS
1980

1 : 30000



シャドークリフ公園　土地再生後

図ⅡB-12d

カリフォルニア州北部の地勢（矢印は敷地位置）

図ⅡB-13

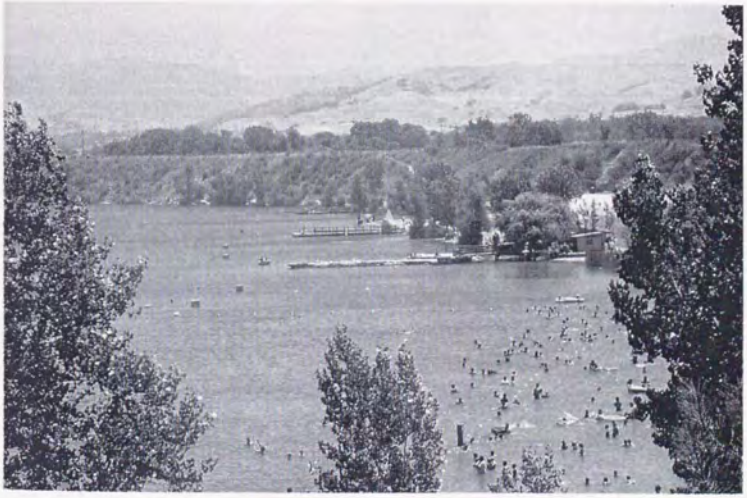
ピクニック・エリア　背景は周辺の操業中採石場　a

水泳場エリア　b

シャドークリフ公園

図ⅡB-14

ボートデッキ　a



スタンレー・ブルバードよりシャドークリフ公園を見おろす　b

シャドークリフ公園

図ⅡB-15

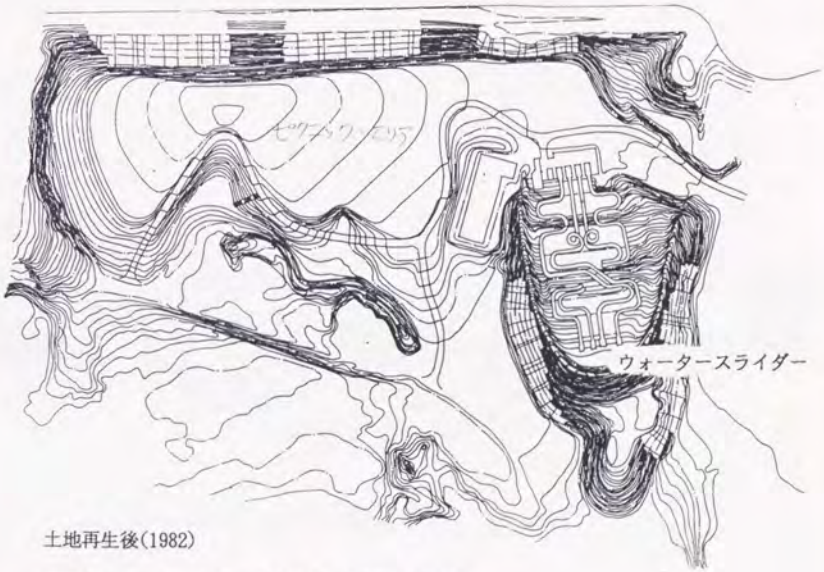
敷地北東角よりシャドークリフ・レイクをみる　a
右側がスタンレー・ブルバードの走る地表レベル

敷地南東角よりシャドークリフ・レイクをみる　b

シャドークリフ公園

図ⅡB-16

採石跡地(1979)



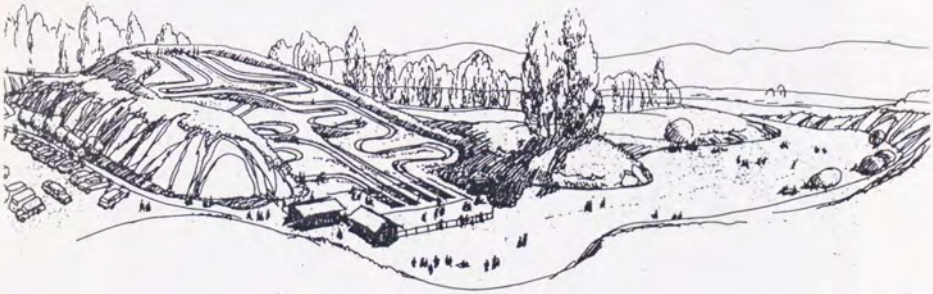
土地再生後(1982)

西側レミラード・ブリック社採石跡地の土地再生

シャドーグリフ公園

図 II B-17

a

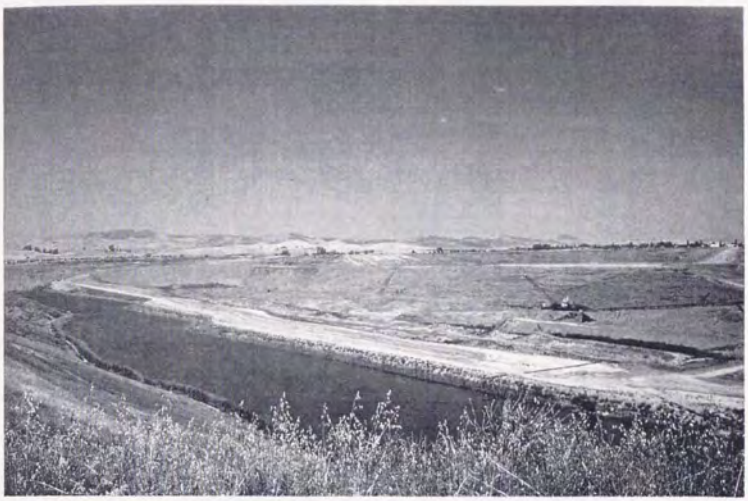


西側レミラード・ブリック社の古い採石場との間の堆積丘
を再利用したウォータースライダー

b

シャドークリフ公園

図ⅡB-18

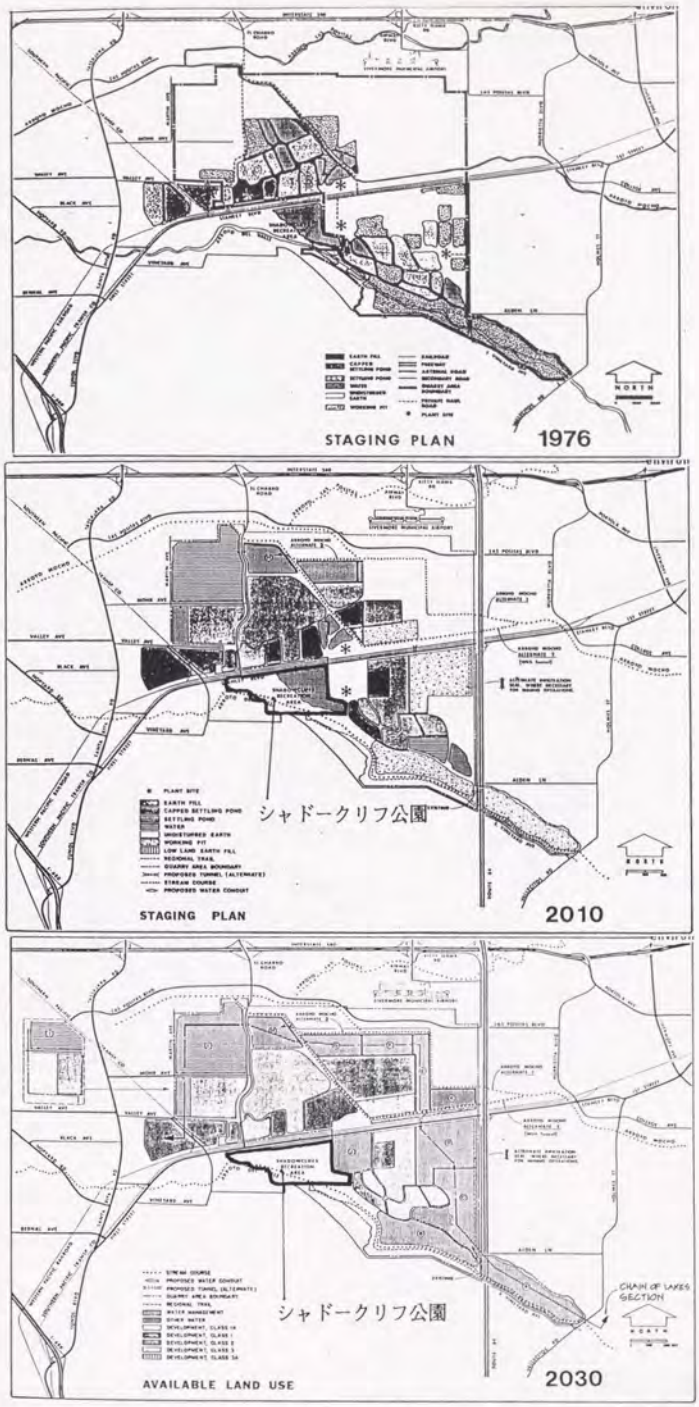


リバモア・アマダ・バリー内の他の採石場　　a

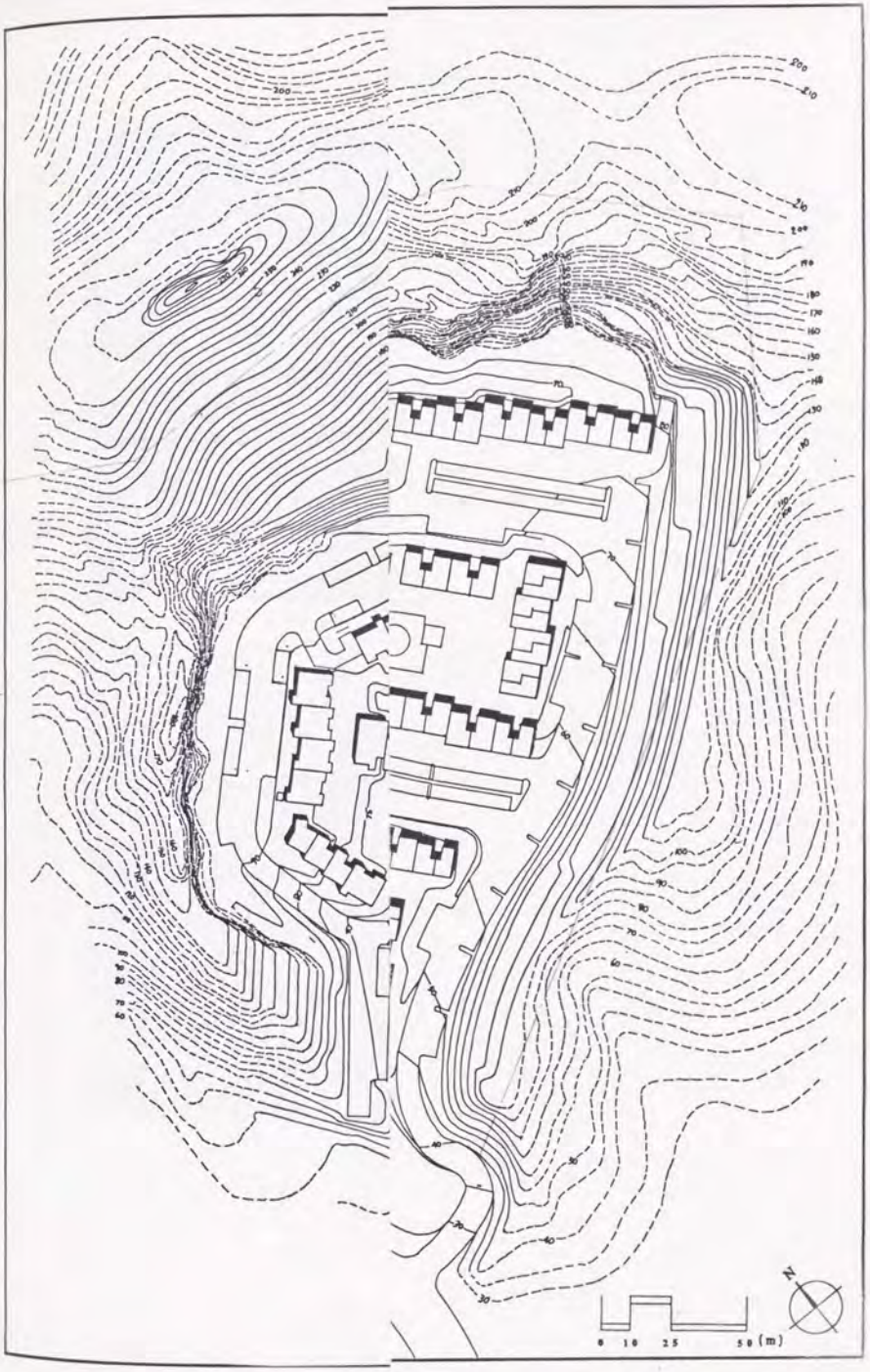
リバモア市の住宅群　　b

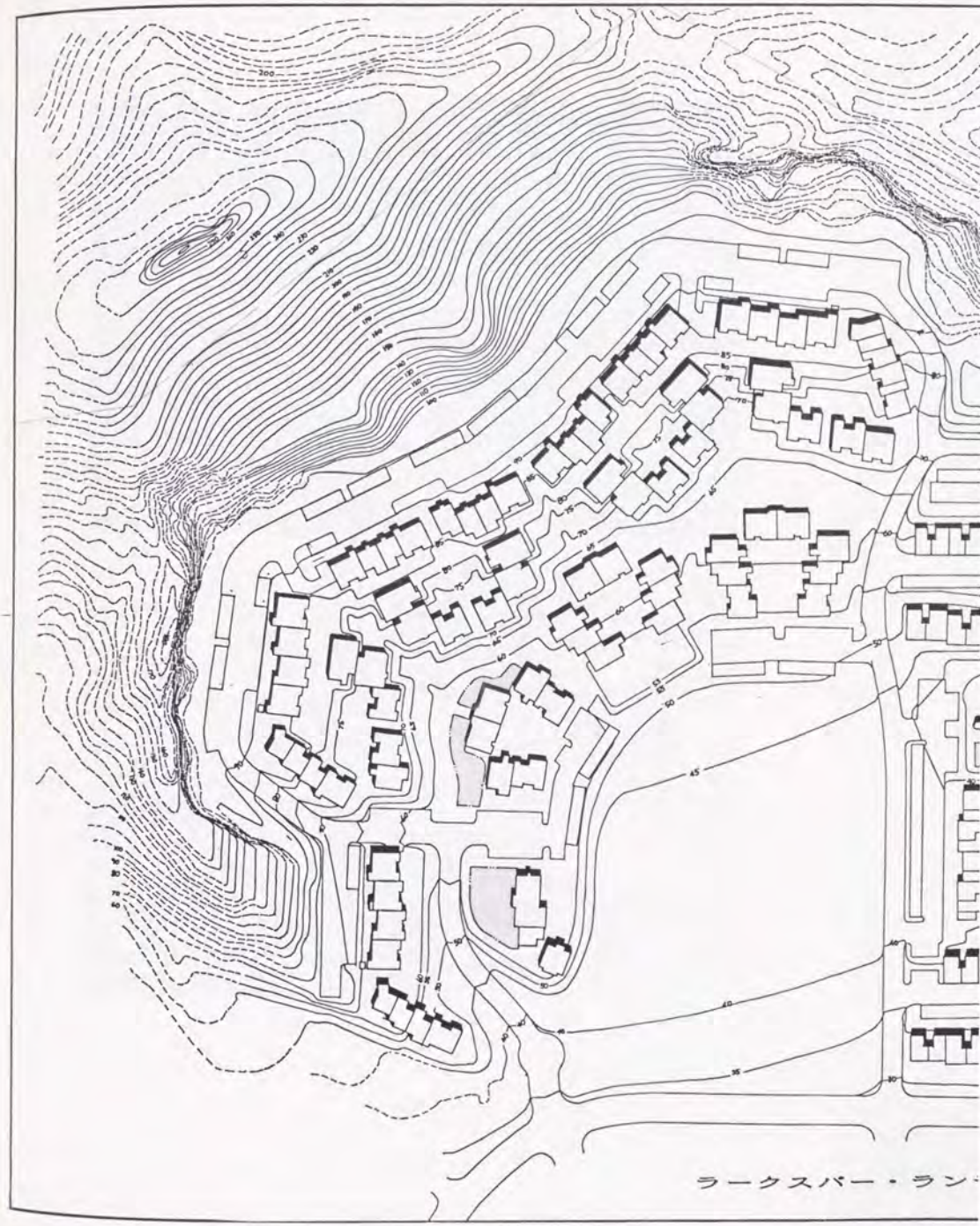
リバモア・アマダ・バリーの風景

図ⅡB-19

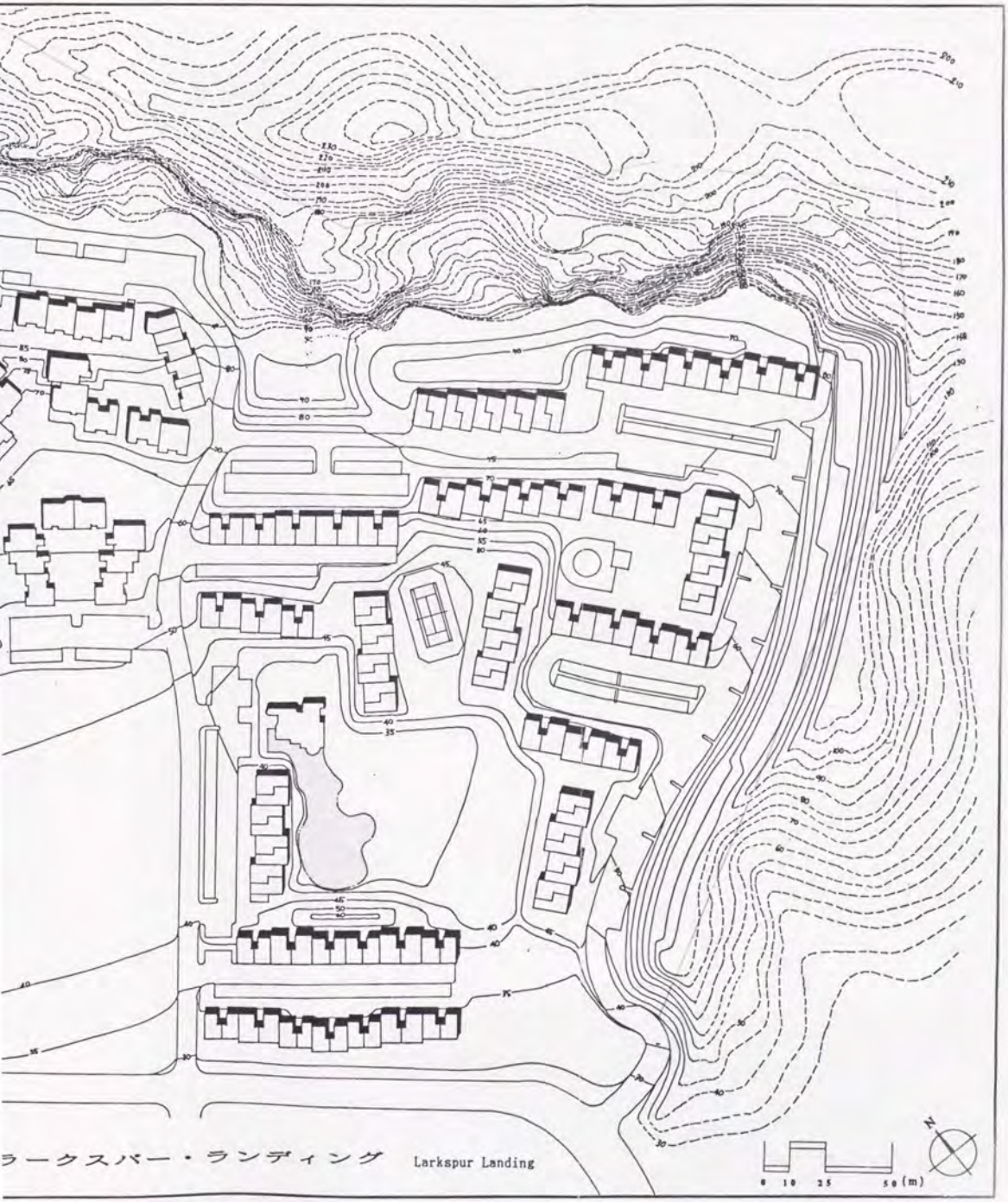


「チェイン・オブ・レイクス」の土地再生計画　　図 II B-20


0 10 25 50 (m)
N



図ⅡB-21

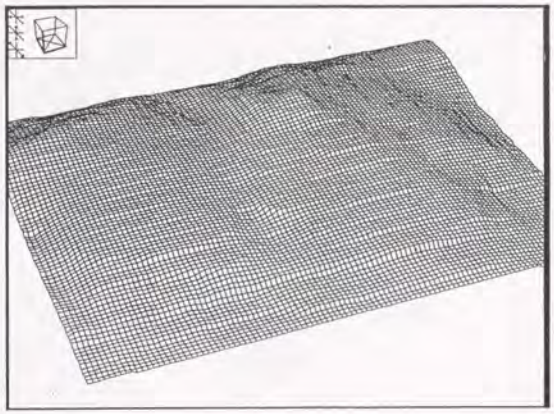


図ⅡB-21

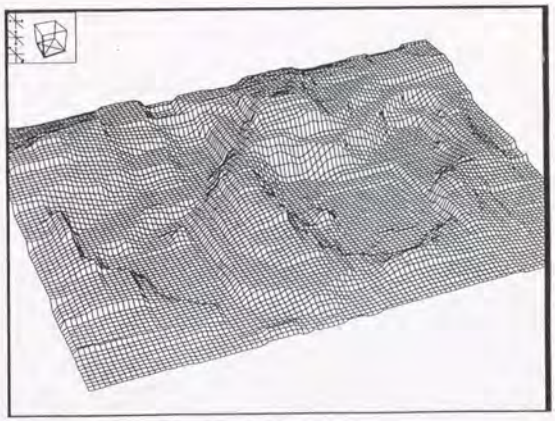
ラークスパー・ランディング

図 II B-22

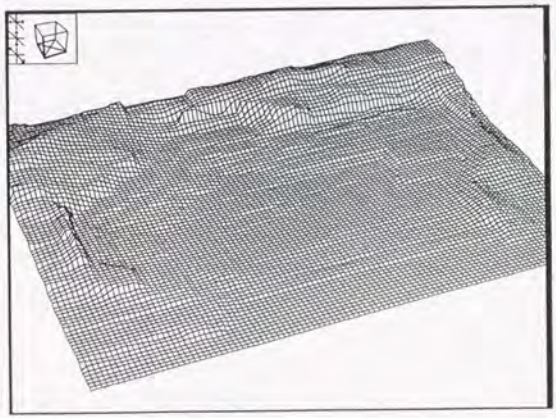
採石操業前



採石跡地

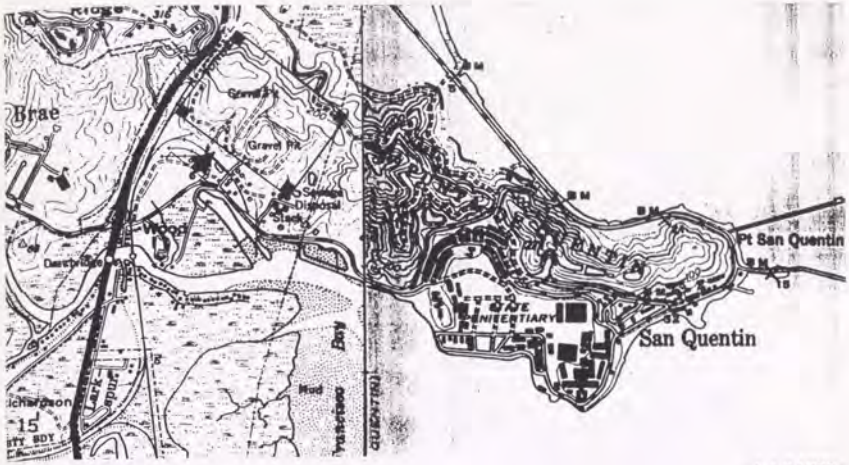


土地再生後



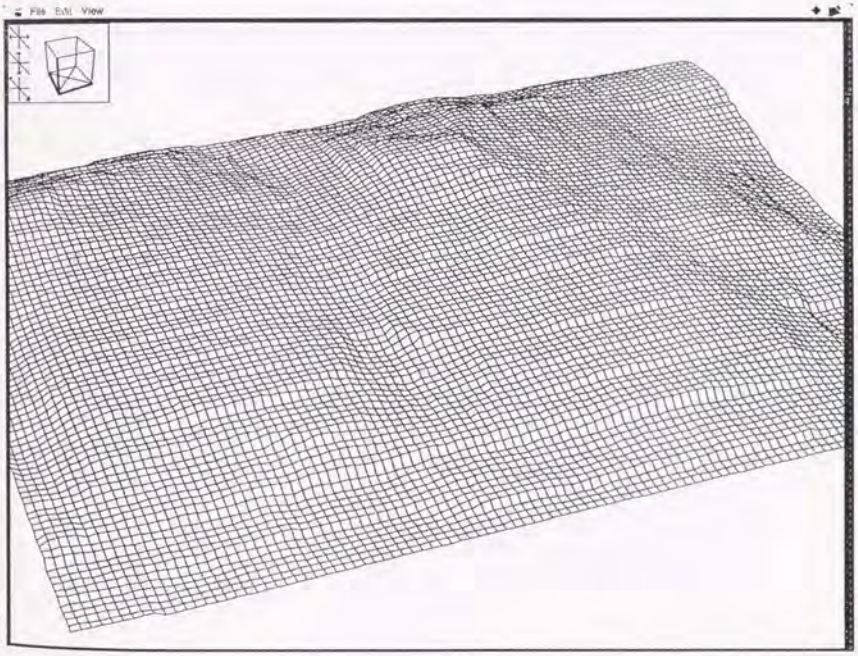
ラークスパー・ランディング

図ⅡB-23a



USGS 1948

1 : 24000

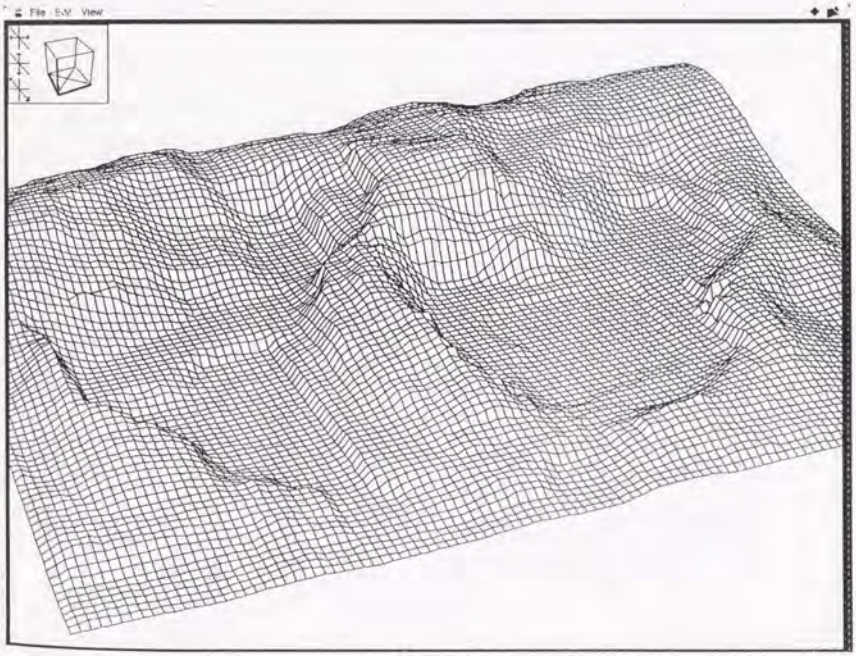


ラークスバー・ランディング　採石操業前

図ⅡB-23b

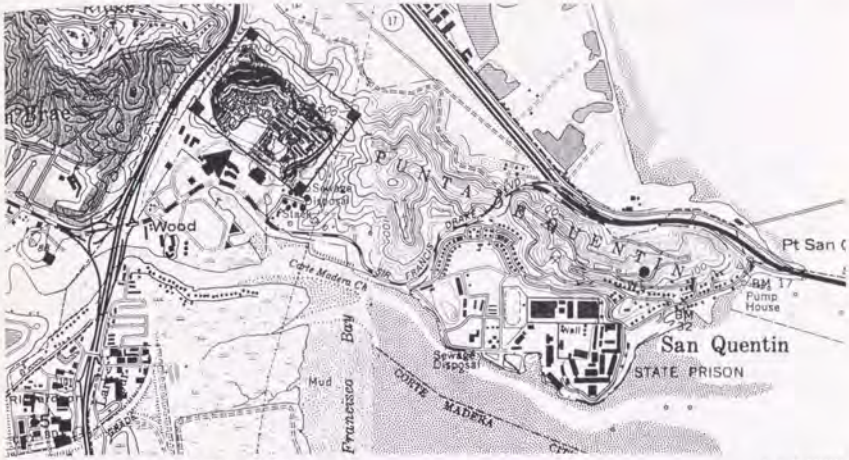
USGS 1954

1 : 24000

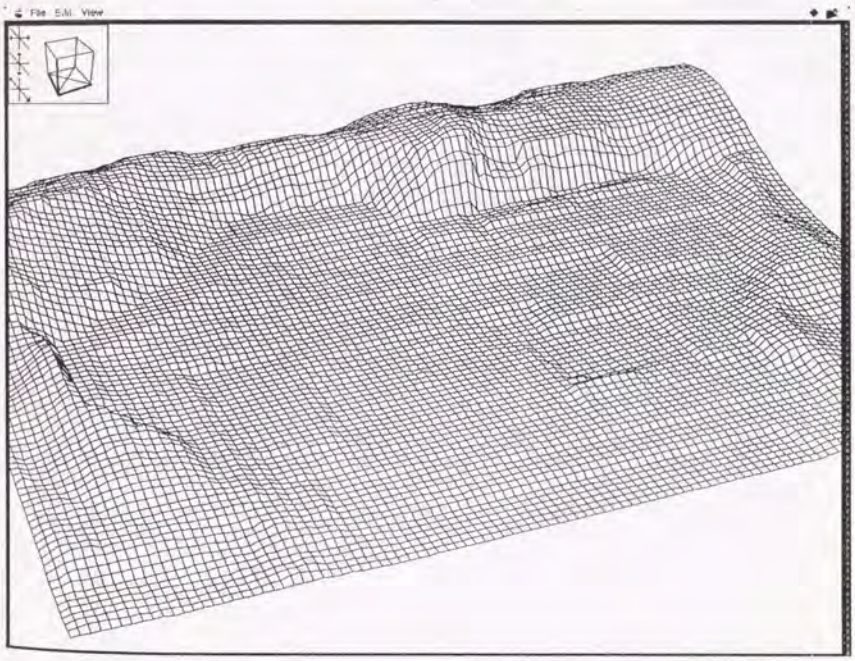


ラークスパー・ランディング　採石跡地

図ⅡB-23c



USGS 1980 + 土地再生平面図　　1 : 24000



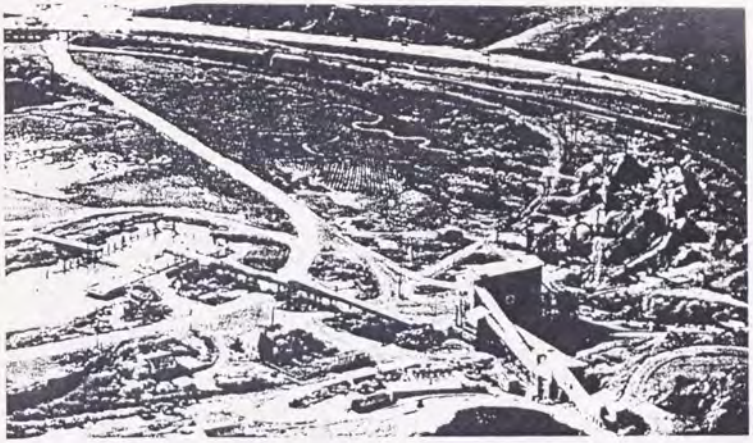
ラークスパー・ランディング　土地再生後

図 II B-23d

北西より南東にかけてフランシスカン岩壁が走る
砂岩がよくとれる（矢印は敷地位置）

カリフォルニア北部の地勢図

図 II B-24



敷地東より西側をみる　サー・フランシス・ドレイク・ブルバードと引き込み線
手前にプラントがみえる(1940)

採石操業中の敷地　　1961の地図

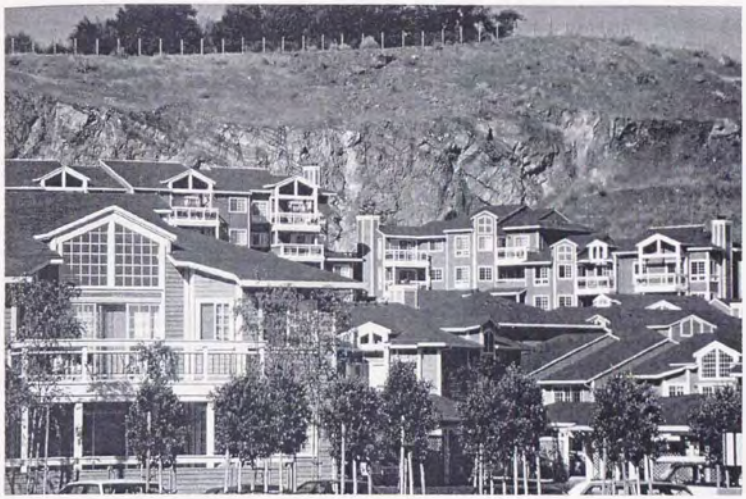
ラークスパー・ランディング

図ⅡB-25

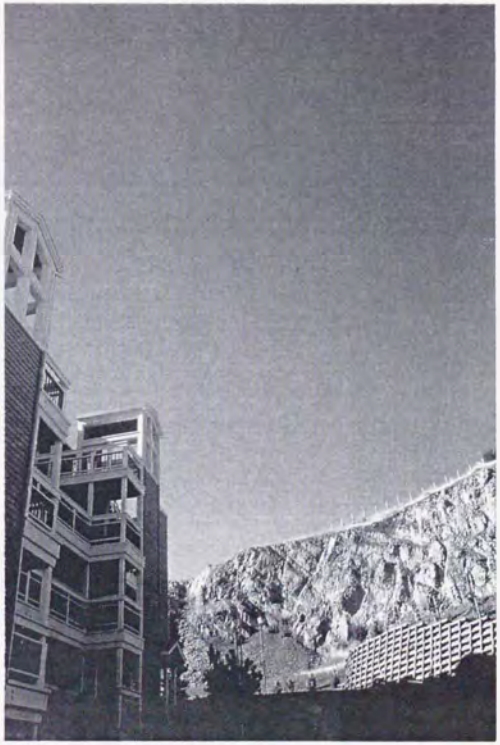
リンカーン・ビレッジ（第Ⅰ期）の土地再生(1979)　a

ハッチンソン採石場　東側の第Ⅰ期土地再生　b
手前はフェリー発着所(1979)

ラークスパー・ランディング
図ⅡB-26



西側住宅区リンカーン・コート：敷地南側より北東側をみる　a

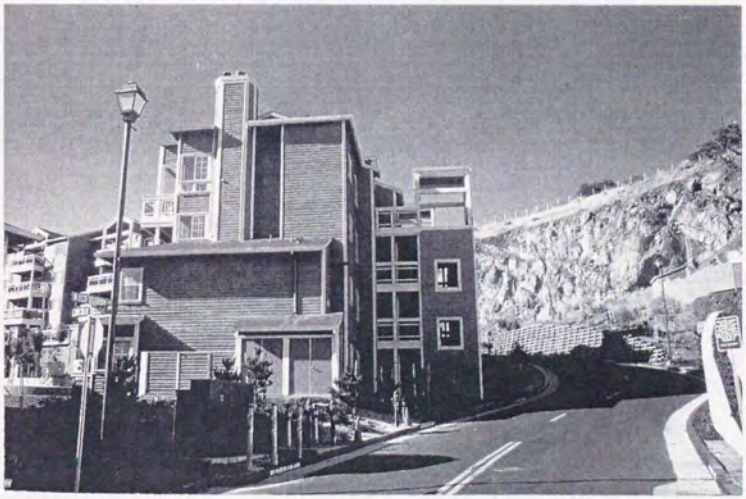


西側住宅区
リンカーン・コート：
敷地北東奥に残る
青砂岸の切羽面

b

図ⅡB-27

西側住宅区リンカーン・コート：オープンスペース　a



西側住宅区リンカーン・コート

ラークスパー・ランディング

図ⅡB-28

切羽面の住戸の間の車路

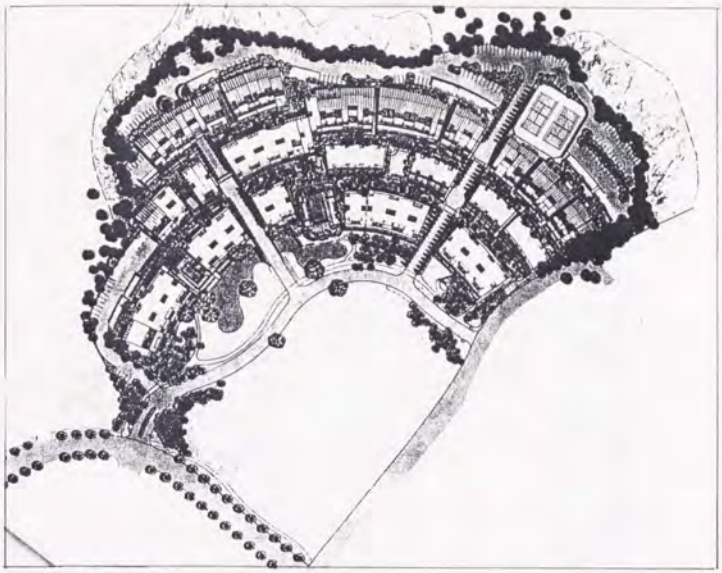
a

西側住宅区
リンカーン・コート
東側に残る
青砂岩の切羽面

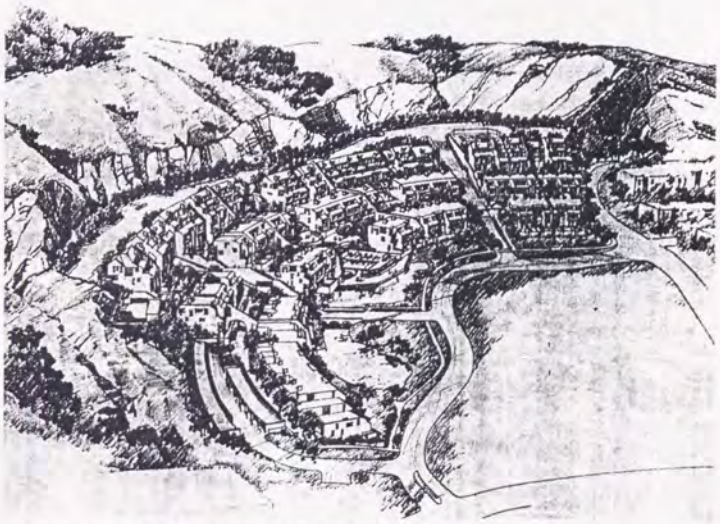
b

ラークスパー・ランディング

図 II B-29



初期計画案平面図　a



ハッチンソン採石場西側第Ⅱ期土地再生の初期計画案　b

ラークスパー・ランディング
図ⅡB-30

700
710
720
730
740
750
760
0 10 25 50

ミスティック・ベイ Mystic Bay

図ⅡB-31

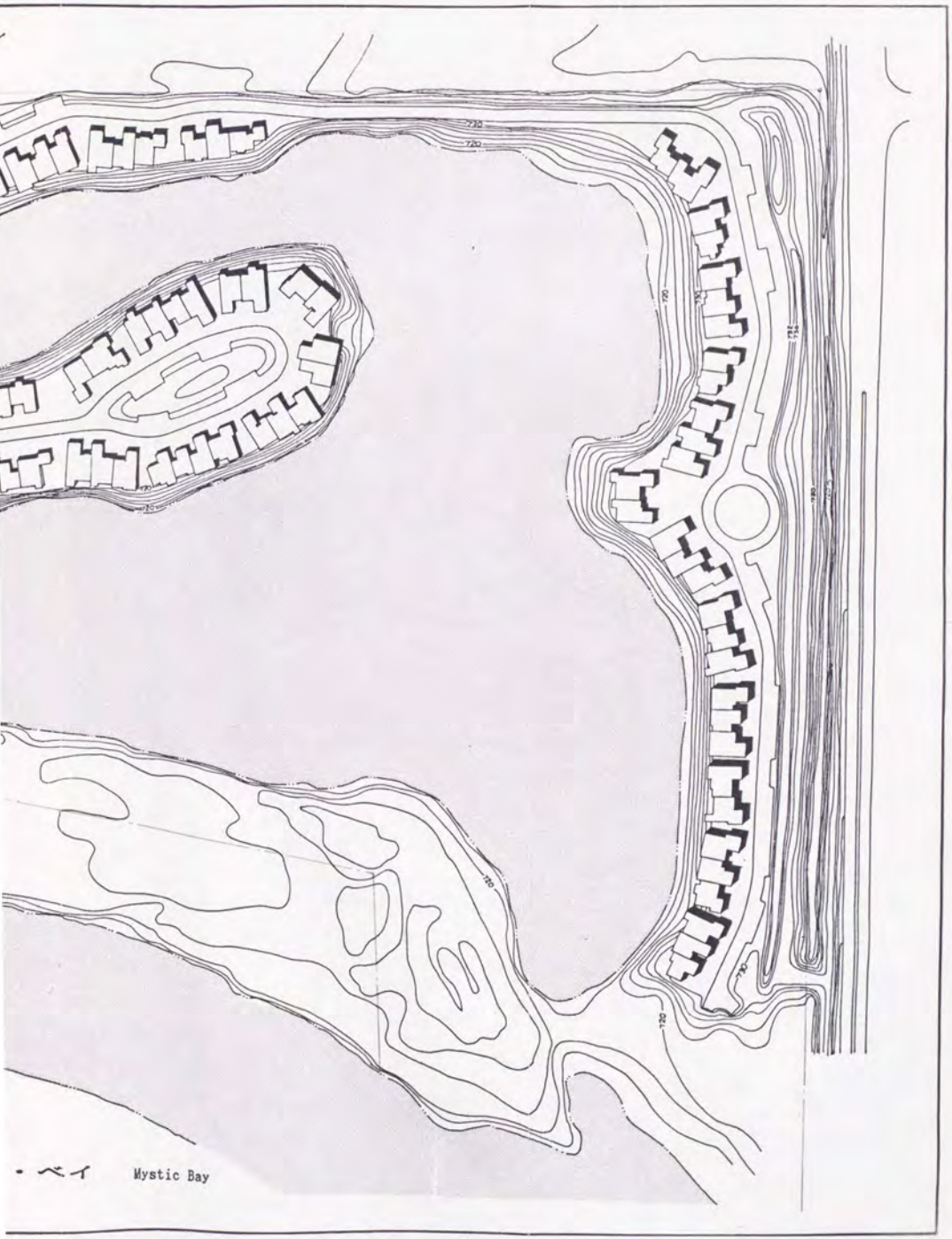
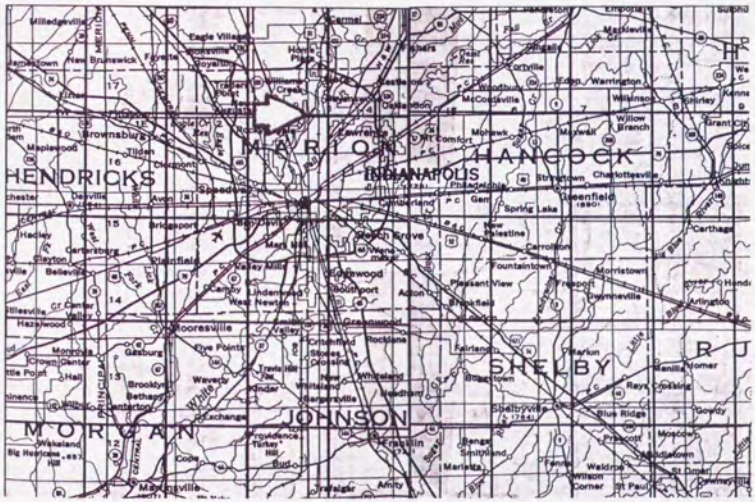


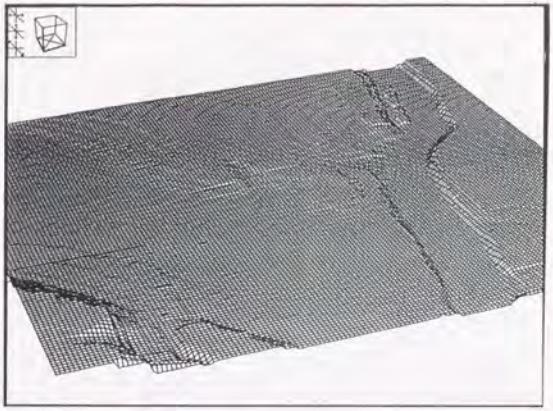
図 II B-31



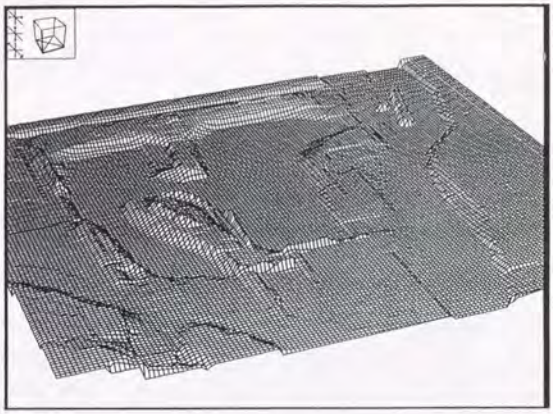
ミスティック・ベイ

図 II B-32

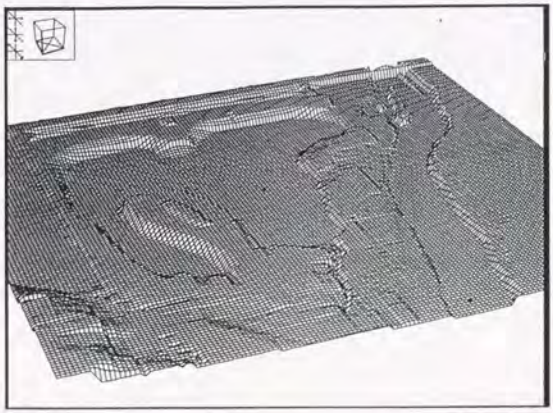
採石操業前



採石跡地



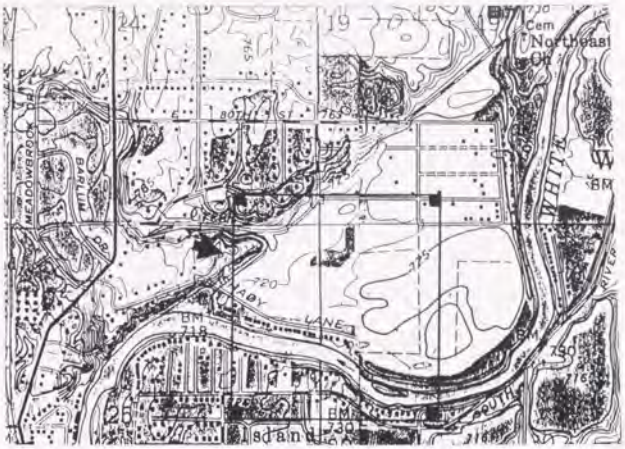
土地再生後



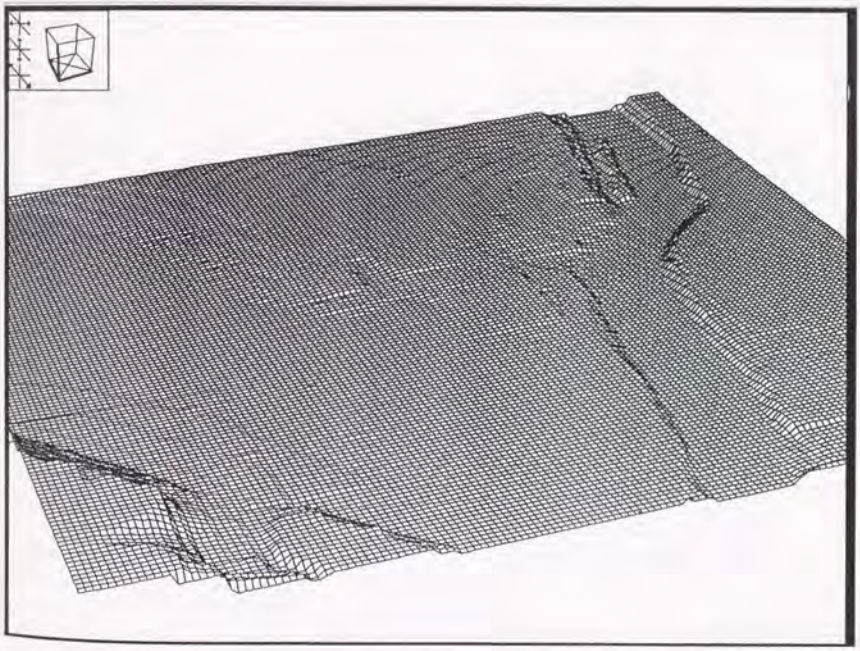
ミスティック・ベイ

図ⅡB-33a

USGS
1952



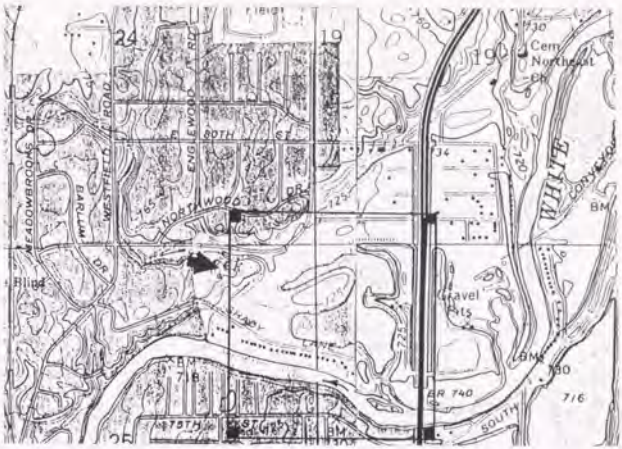
1：20000



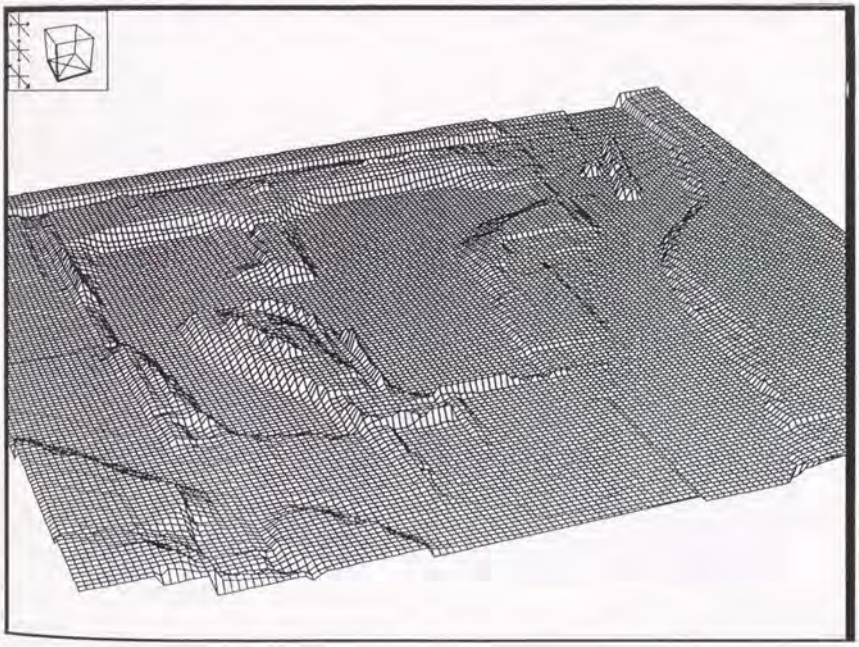
ミスティック・ベイ　採石操業前

図ⅡB-33b

USGS
1967



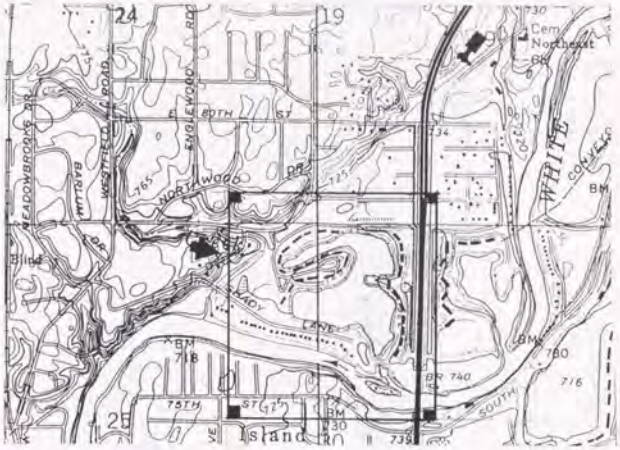
1 : 20000



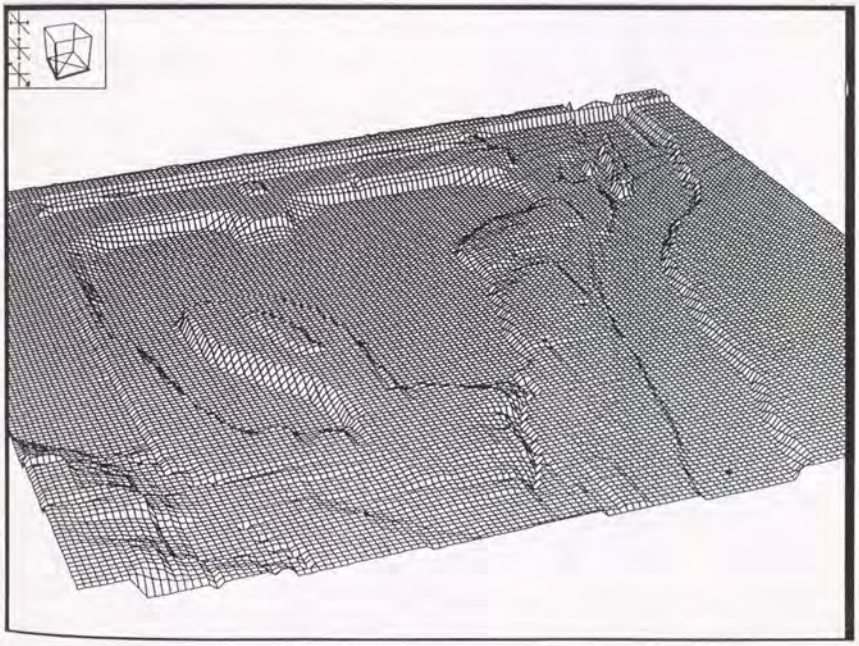
ミスティック・ベイ　採石跡地

図ⅡB-33c

USGS
1988



1 : 20000



ミスティック・ベイ　土地再生後

図ⅡB-33d

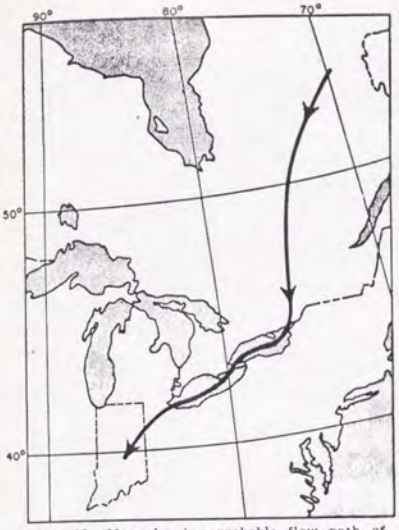


Figure 10.—Map showing probable flow path of ice into Marion County during the Illinoian and Wisconsin glaciations.

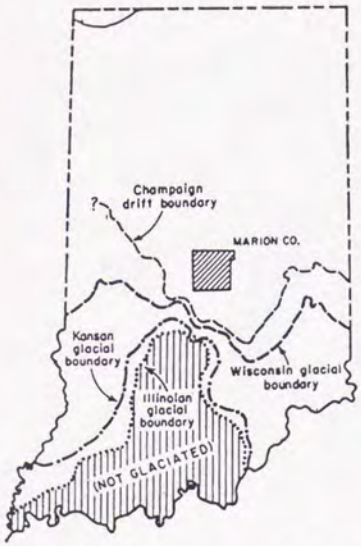
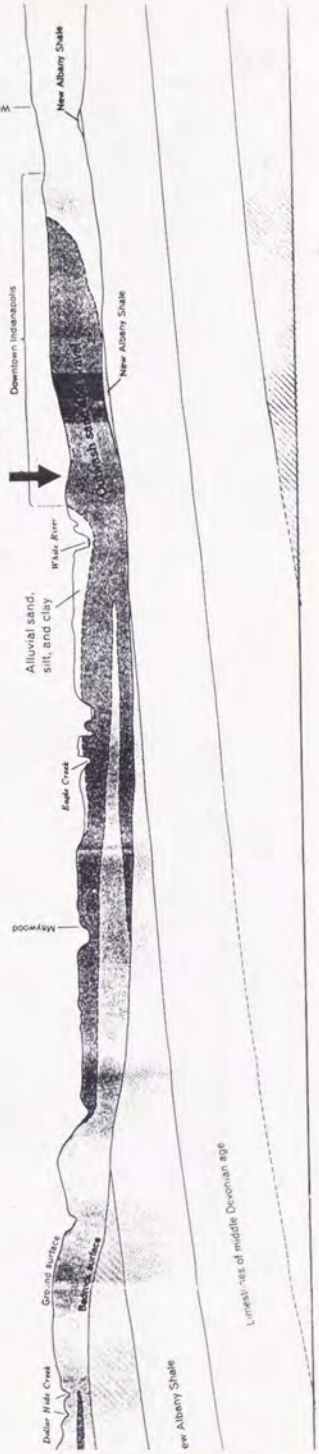
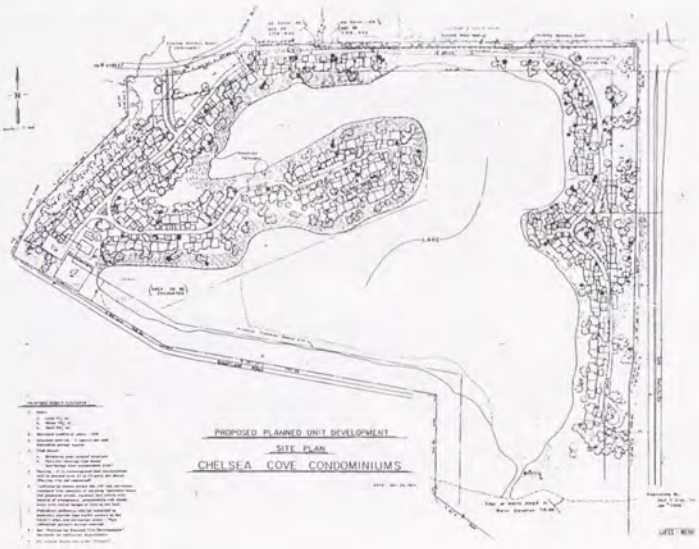


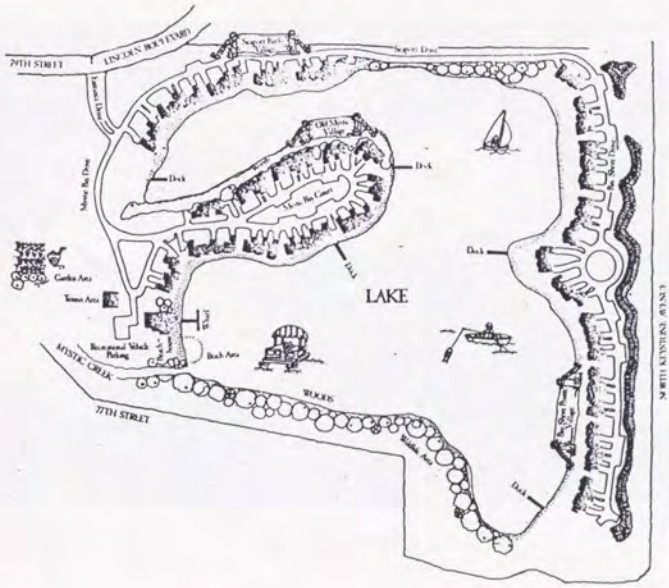
Figure 3.—Map of Indiana showing glacial boundaries.



インディアナ州　マリオン郡の地勢



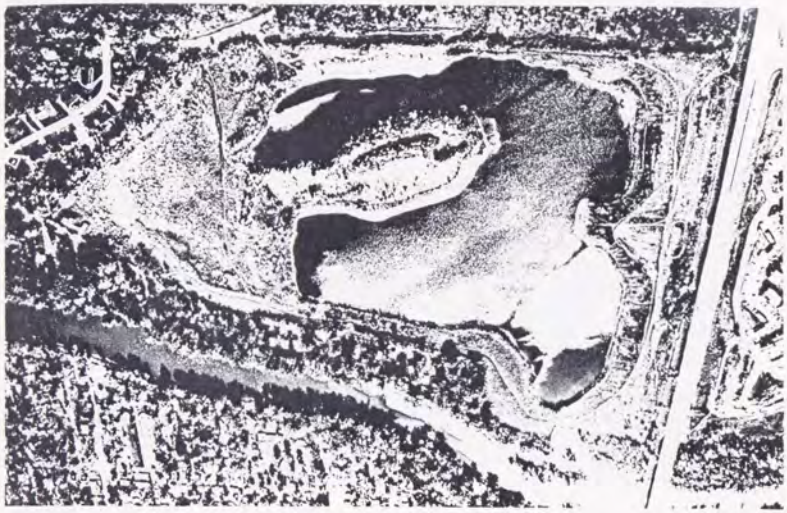
土地再生初期の計画案　　a



現在のミスティック・ベイのパンフレット　　b

ミスティック・ベイ

図 II B-35



放置後１２たった採石跡地レイクＡ(1972)　a

土地再生計画「ミスティック・ベイ」第Ｉ期工事(1979)　b

ミスティック・ベイ

図ⅡB-36

敷地南西の「ワーフ」より東側をみる　a

湖水北東岸より南側をみる　b

ミスティック・ベイ

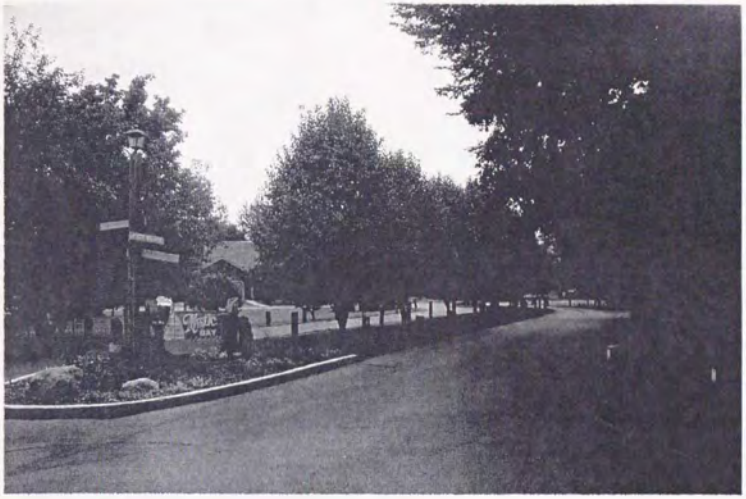
図 II B-37

湖水北東岸より「ミスティック岬」をみる　a
採石操業で残った樹木が生い茂る

湖水東岸より南西側をみる　b
各住戸が水辺におりる階段とボートデッキをもつ

ミスティック・ベイ

図ⅡB-38

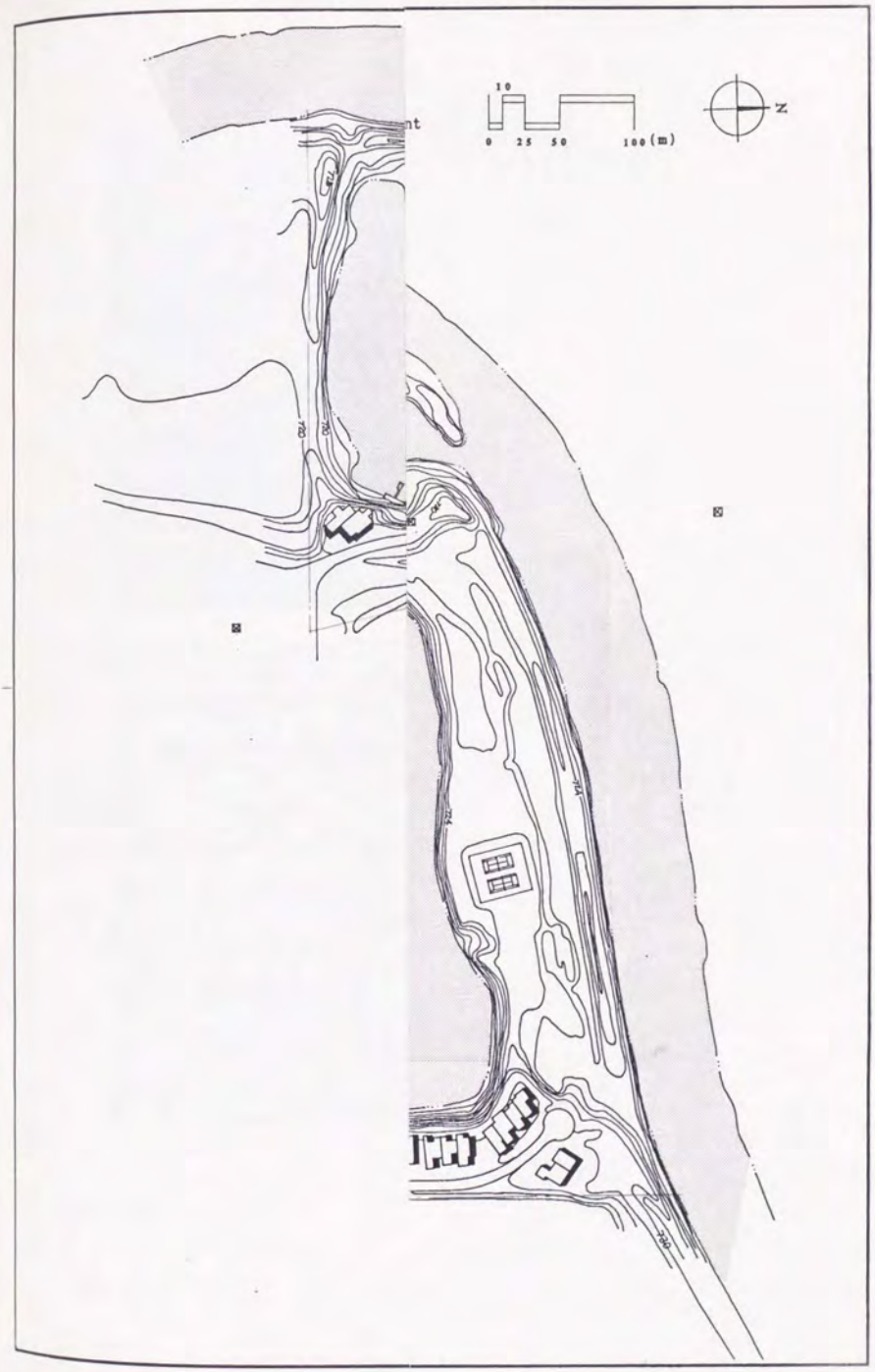


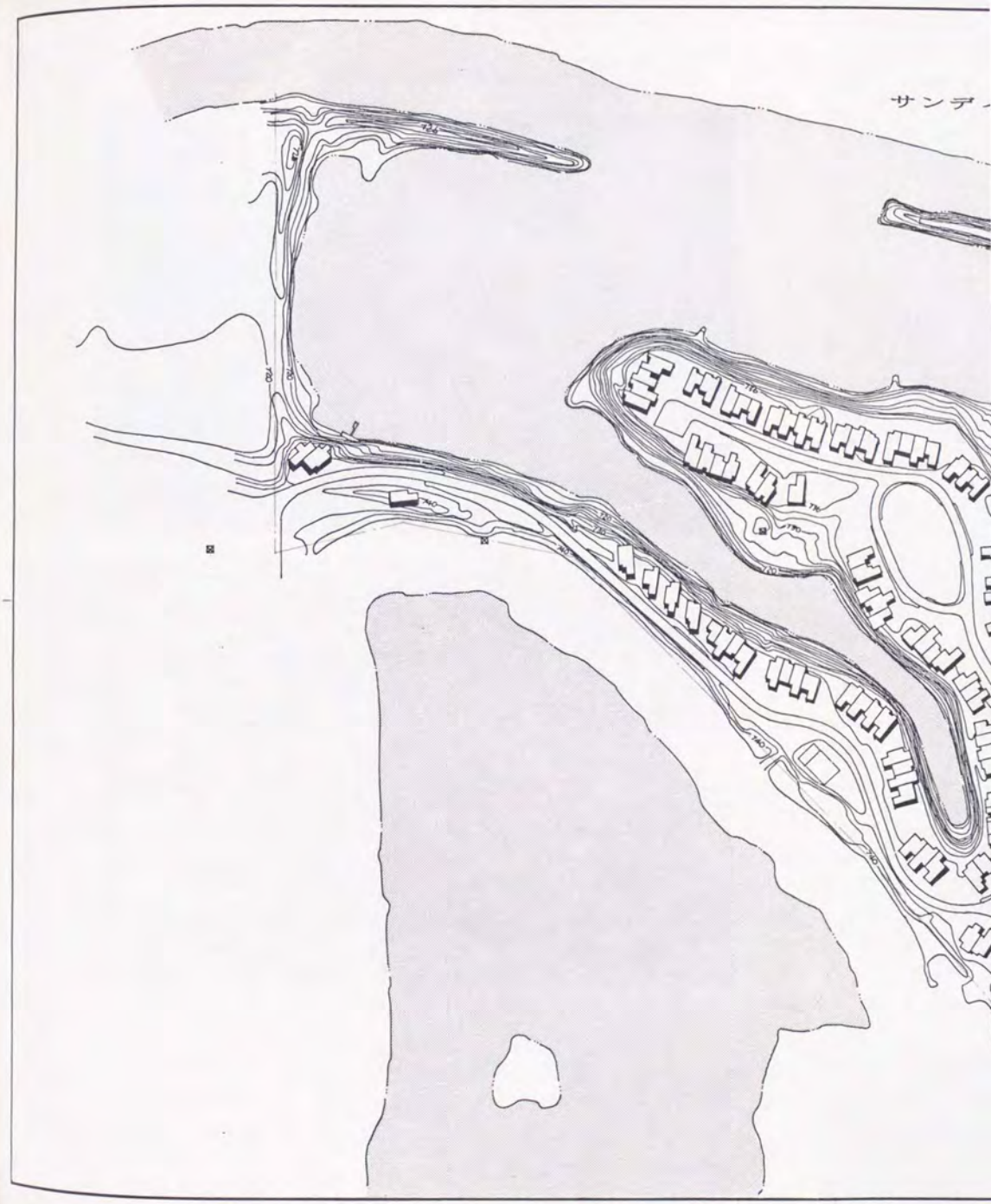
住宅区への進入路　　a

ボートハウス　　b

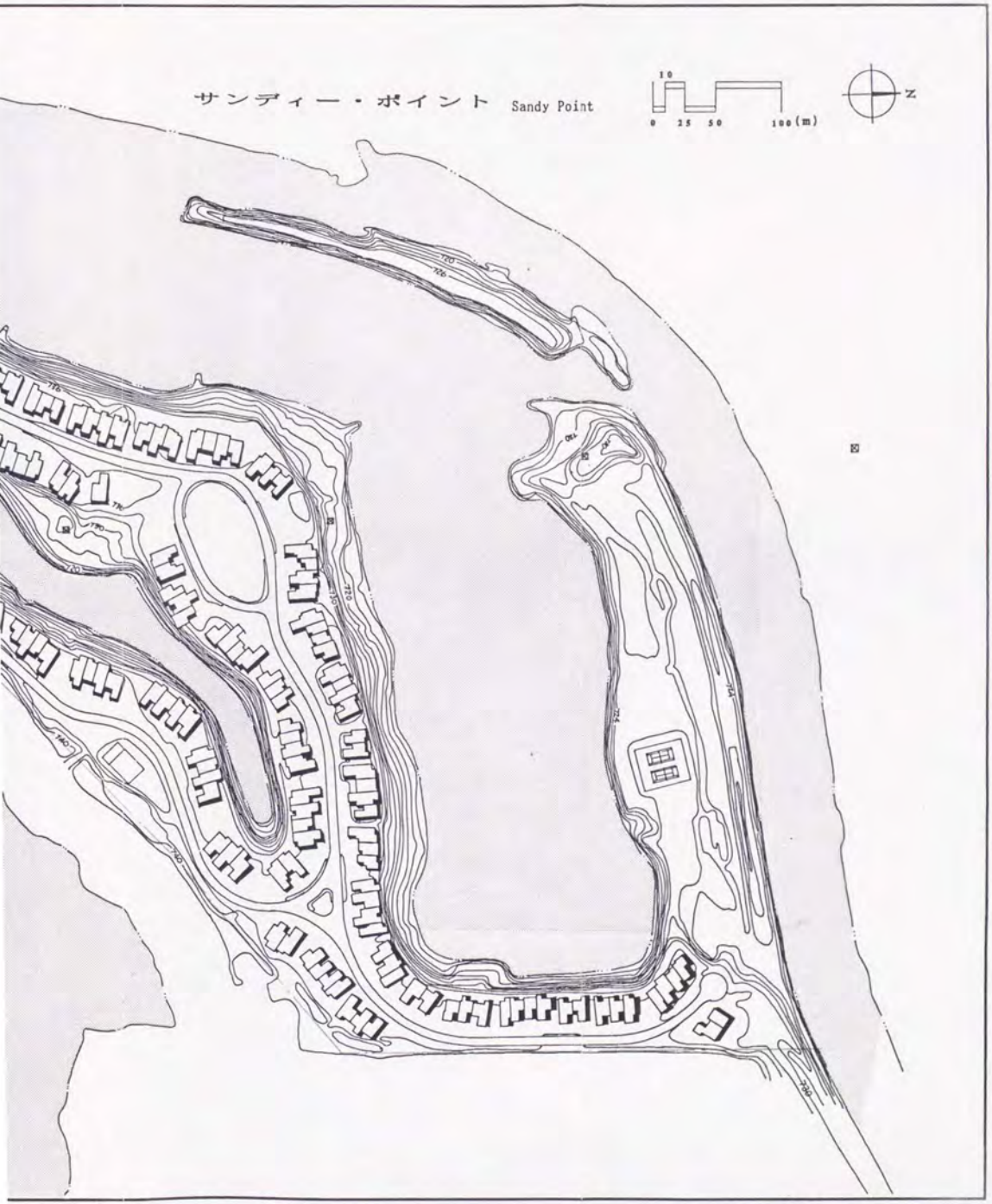
ミスティック・ベイ

図 II B-39

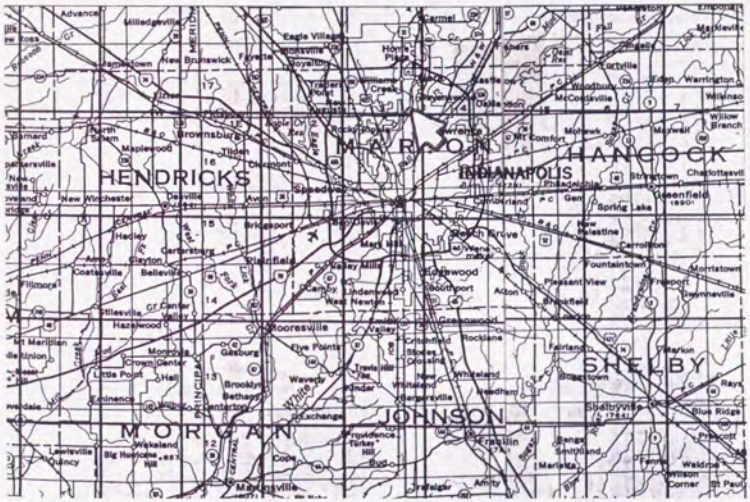

nt
10
0 25 50 100(m)
N
720
740
760
780
800



図ⅡB-40



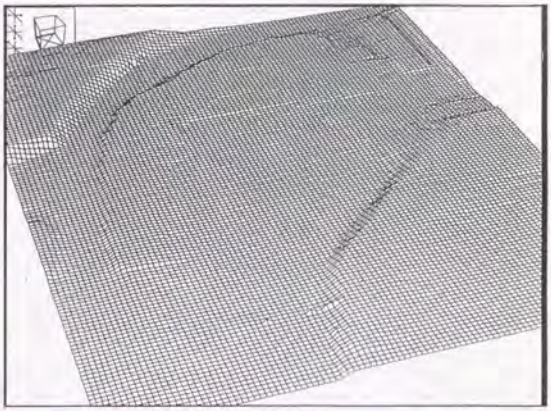
図ⅡB-40



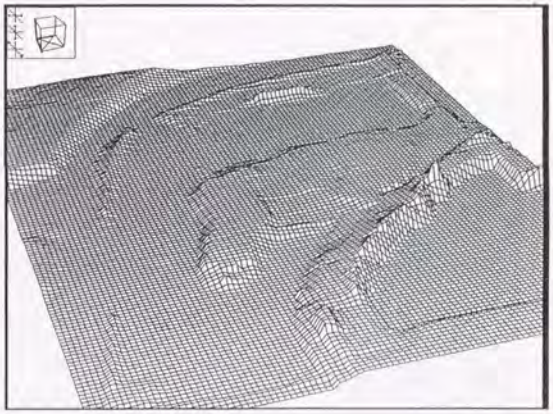
サンディー・ポイント

図ⅡB-41

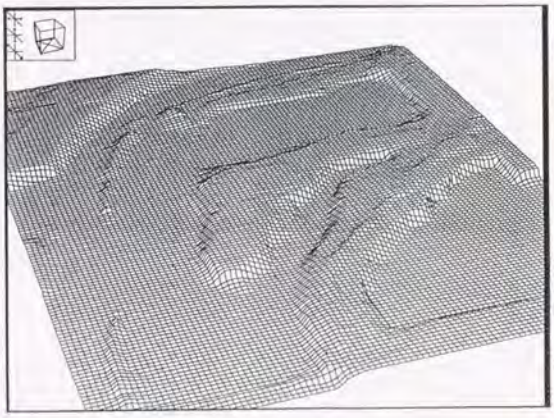
採石操業前



採石跡地



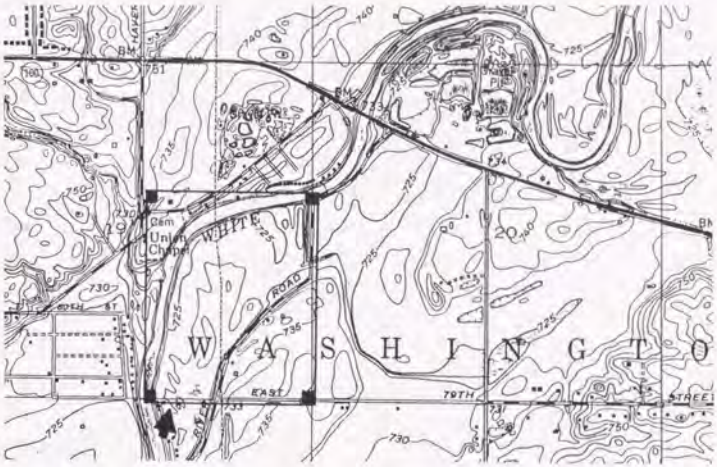
土地再生後



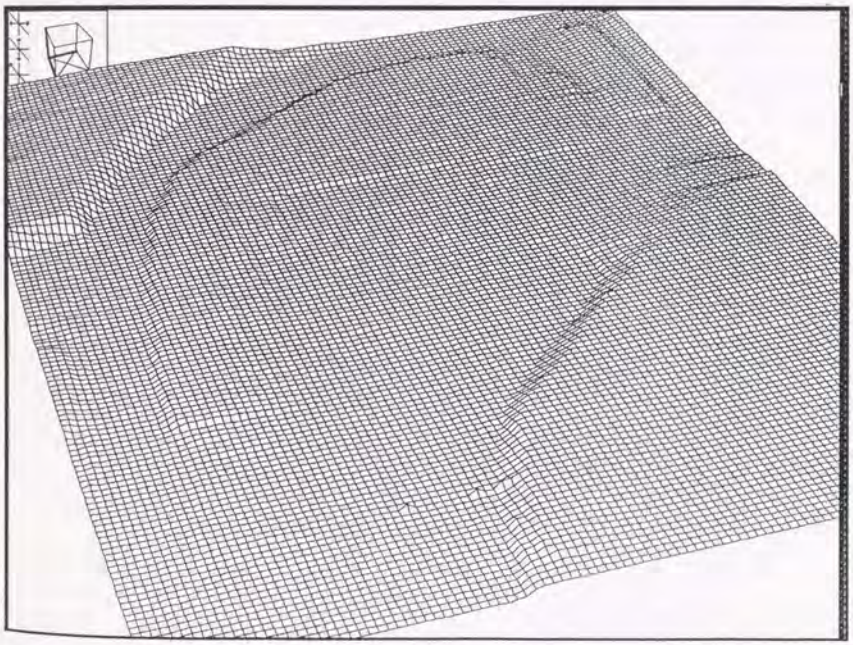
サンディ・ポイント

図ⅡB-42a

USGS
1952



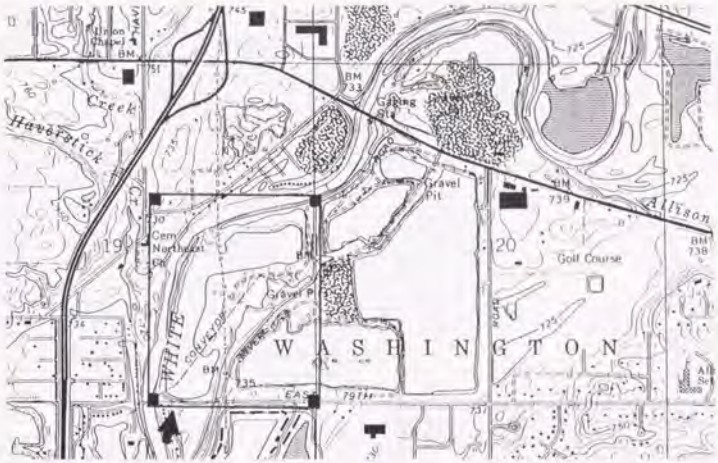
1 : 24000



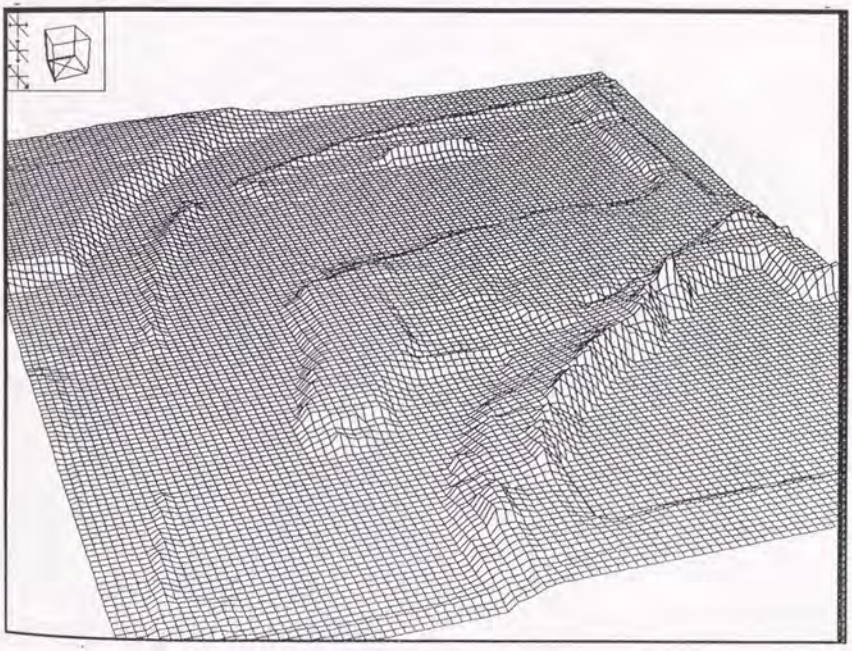
サンディ・ポイント　採石操業前

図ⅡB-42b

USGS
1967

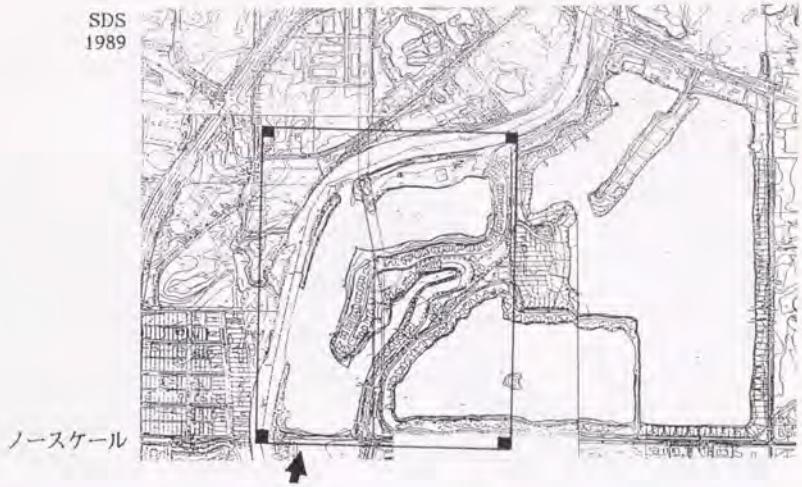


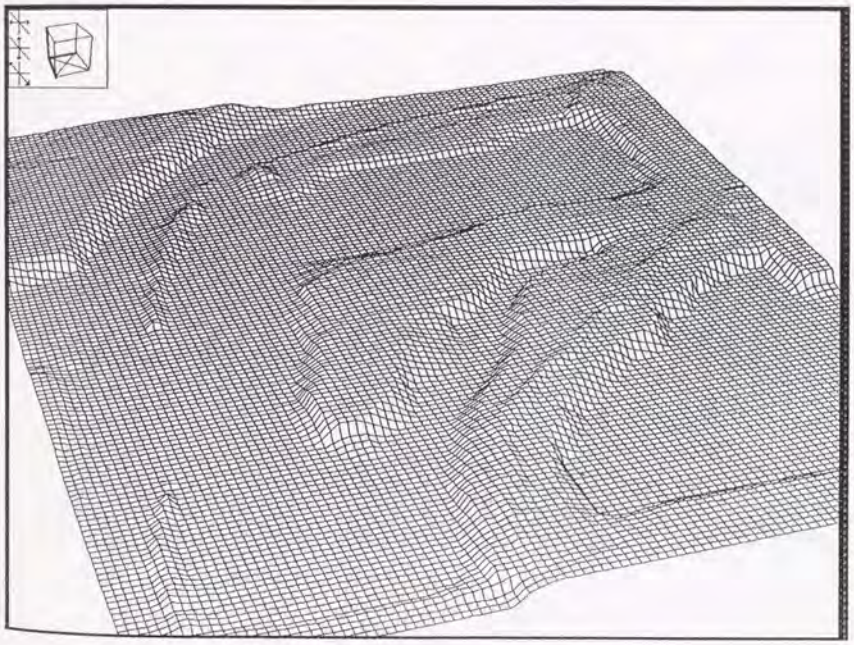
1 : 24000



サンディ・ポイント　採石跡地

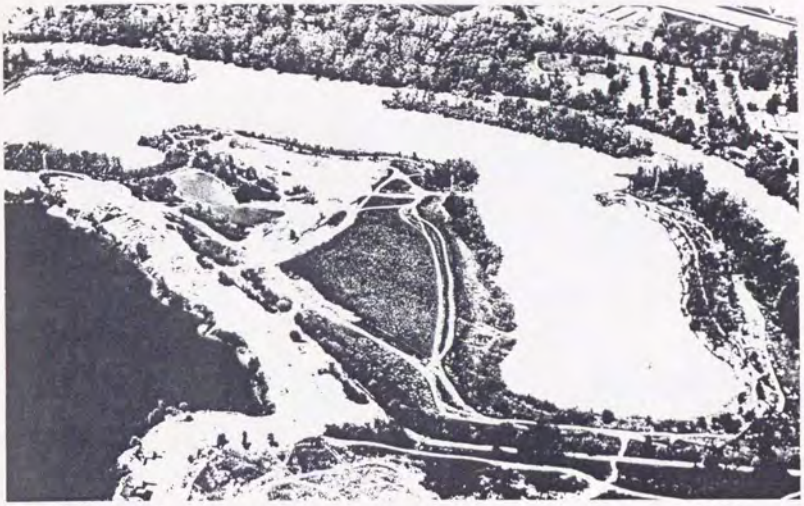
図ⅡB-42c





サンディ・ポイント　土地再生後

図ⅡB-42d



採石跡地状況(1979)　　1979　a

土地再生後の状況(1989)　　1989　b

サンディー・ポイント

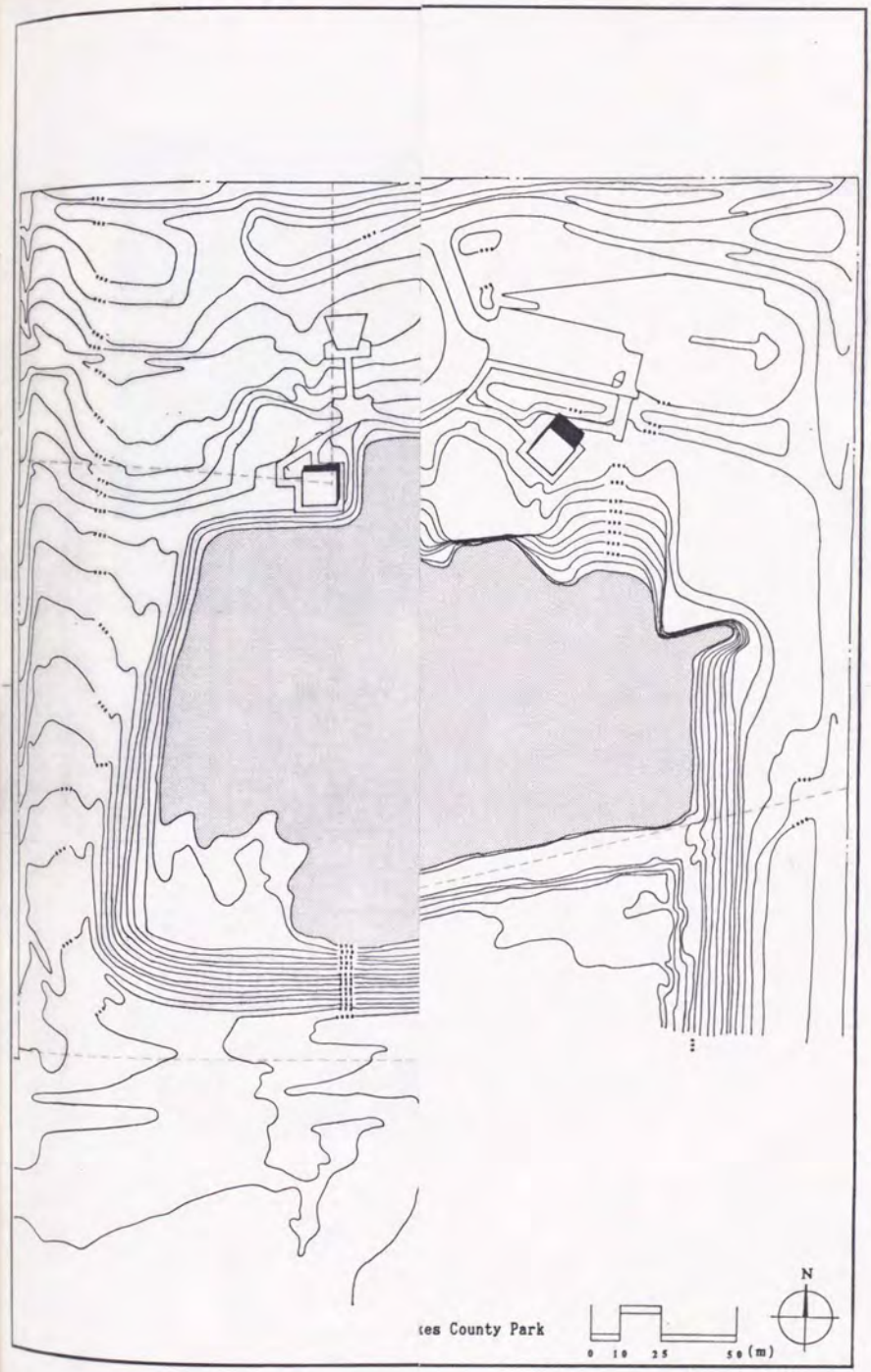
図ⅡB-43

北岸から　南　サンディー・ポイントをみる　a

南側入り江　b

サンディー・ポイント

図ⅡB-44



ies County Park

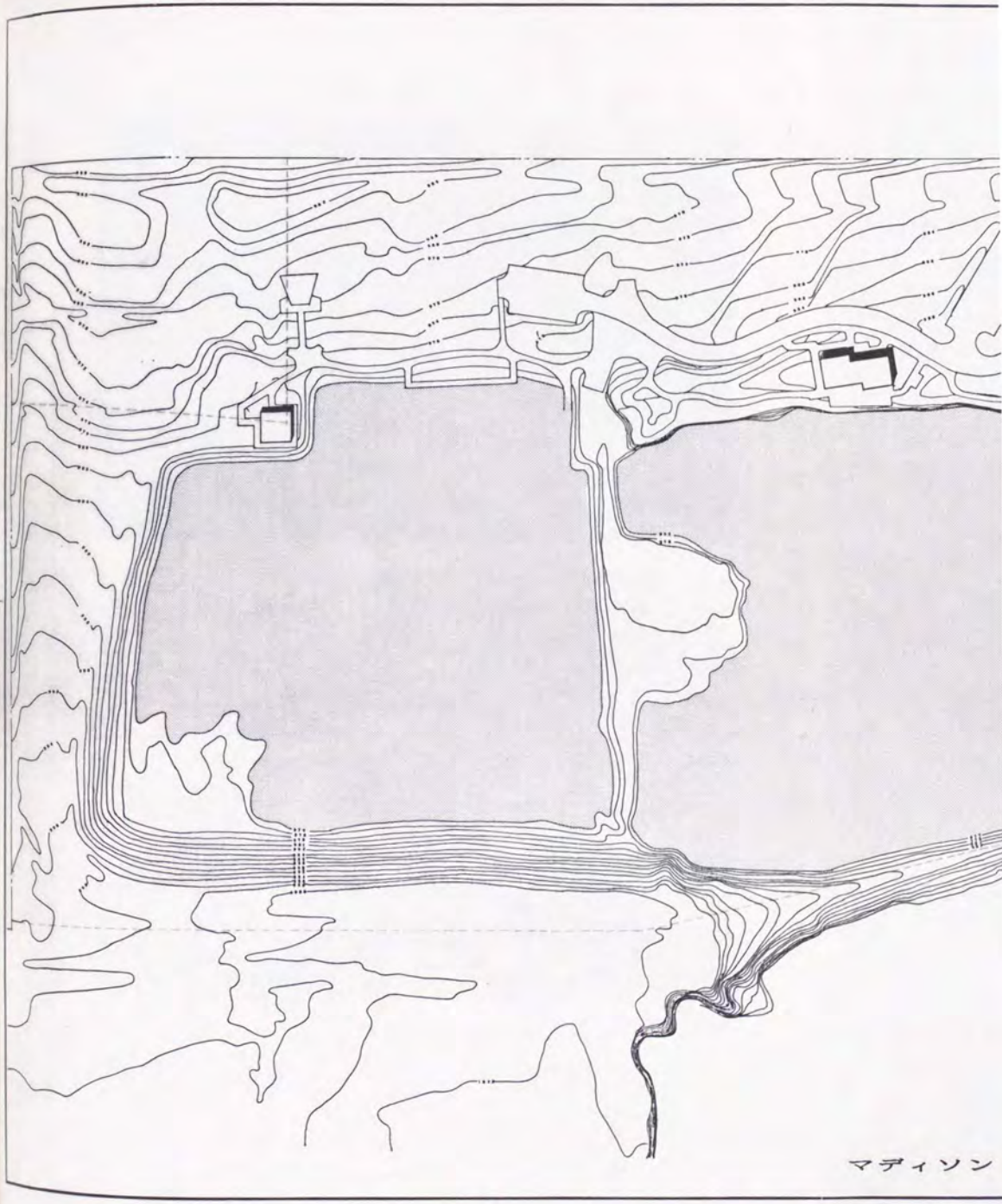
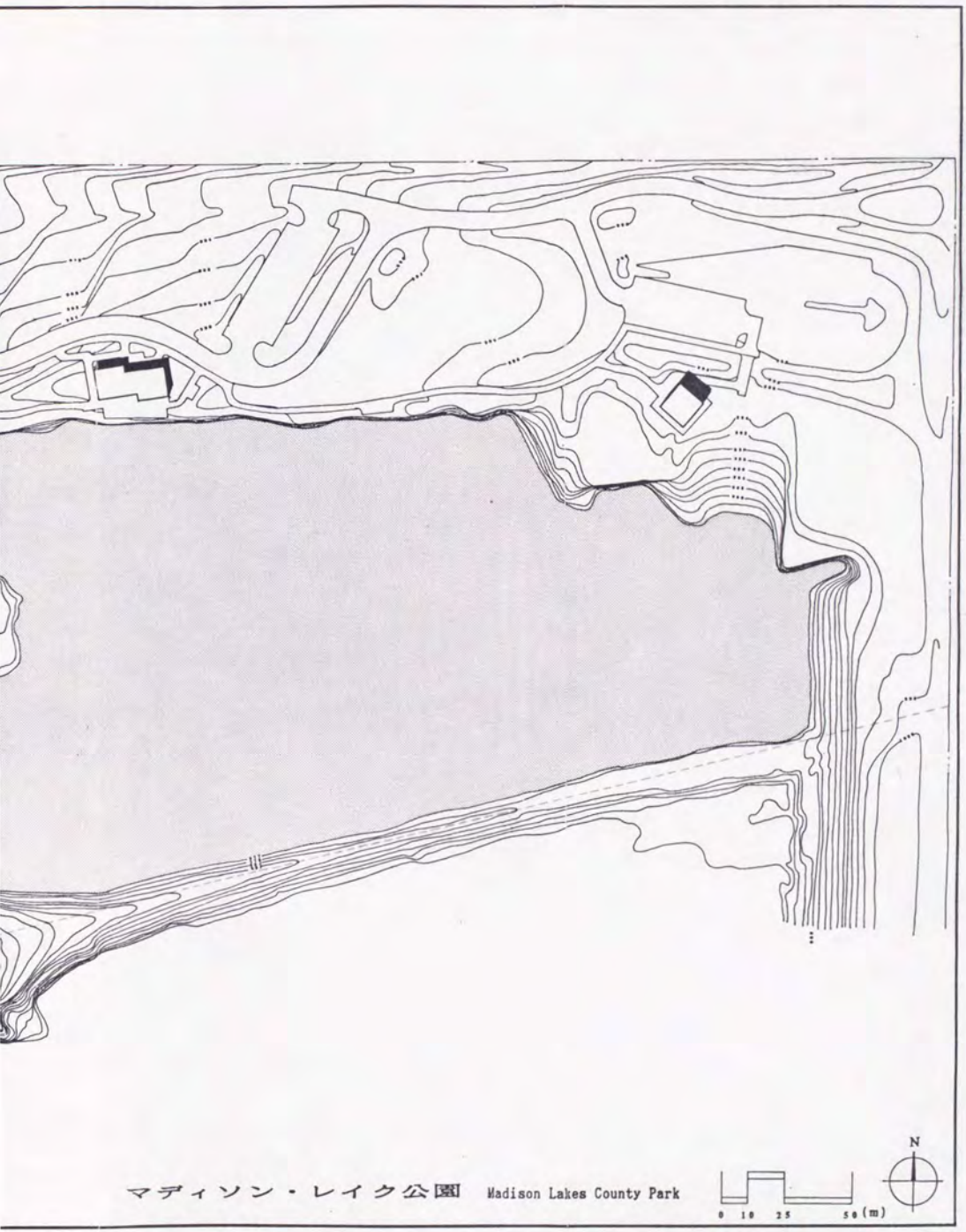


図 II B-45



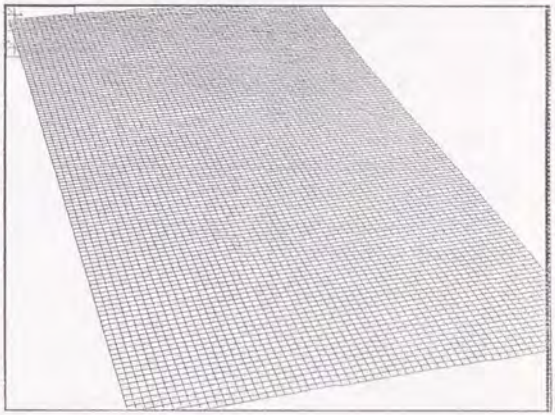
マディソン・レイク公園 Madison Lakes County Park

図 II B-45

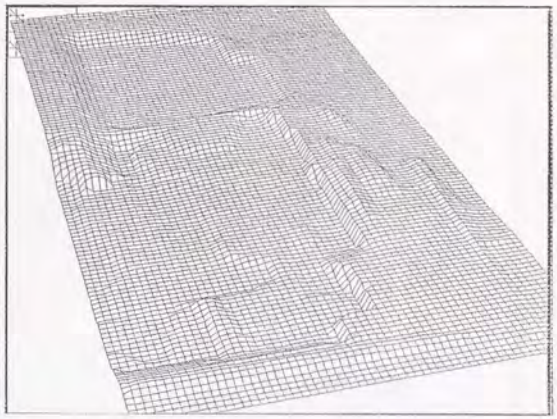
マディソン・レイク公園

図 II B-46

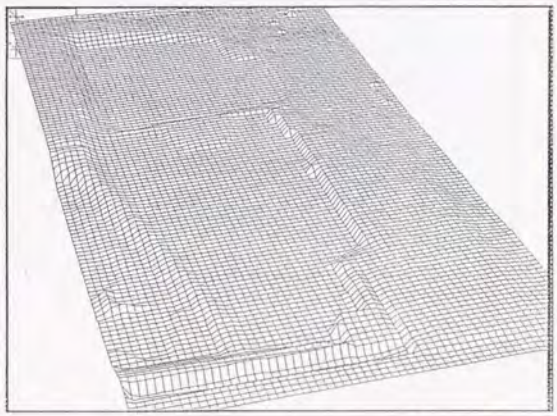
採石操業前



採石跡地



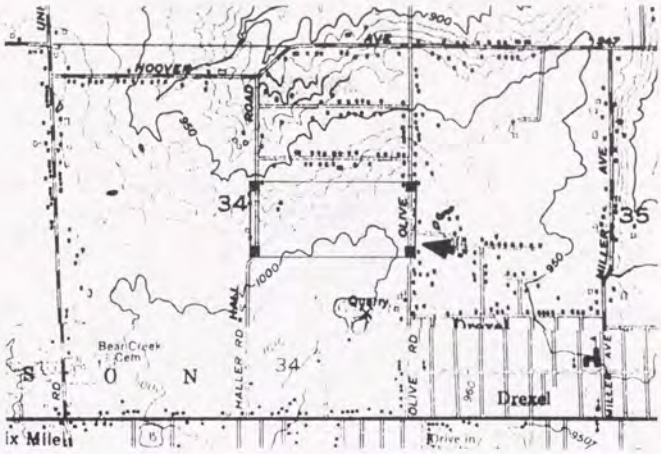
土地再生後



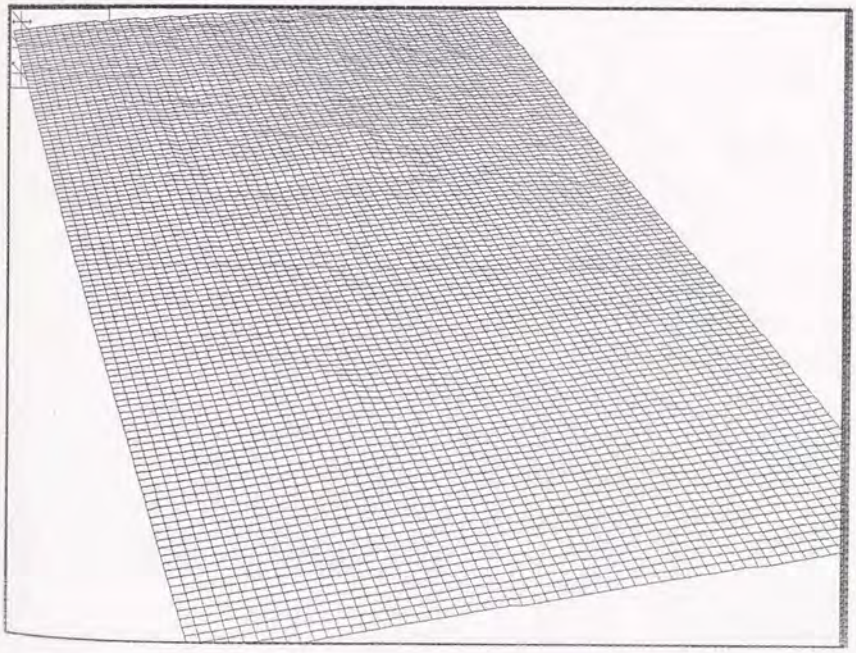
マディソン・レイク公園

図ⅡB-47a

USGS
1955



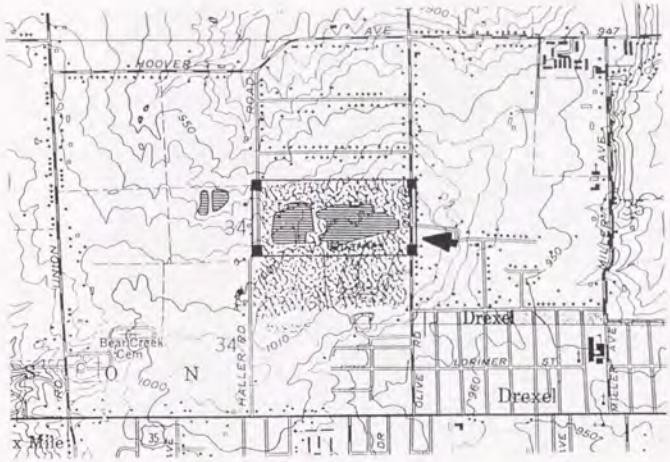
1 : 22000



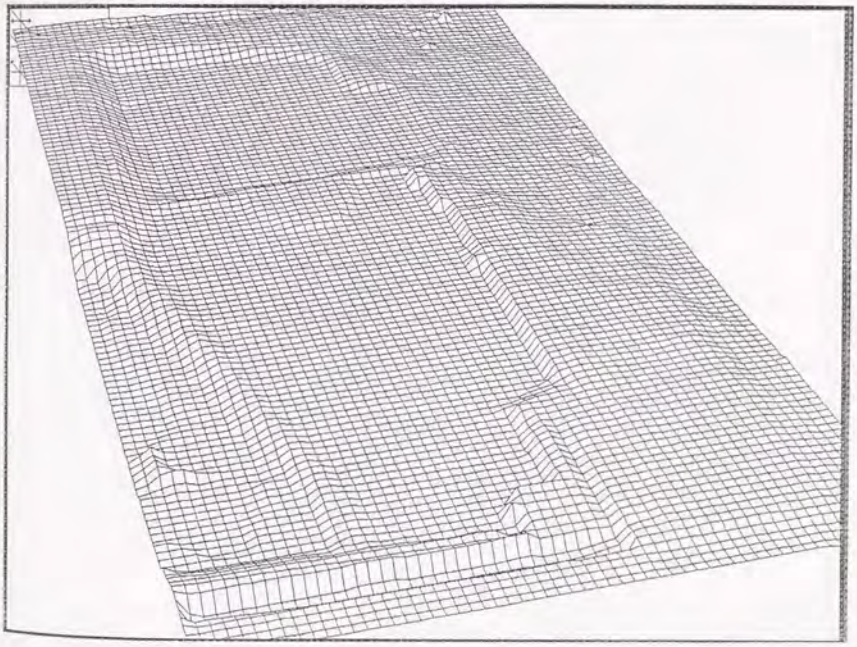
マディソン・レイク公園　採石操業前

図ⅡB-47b

USGS
1965



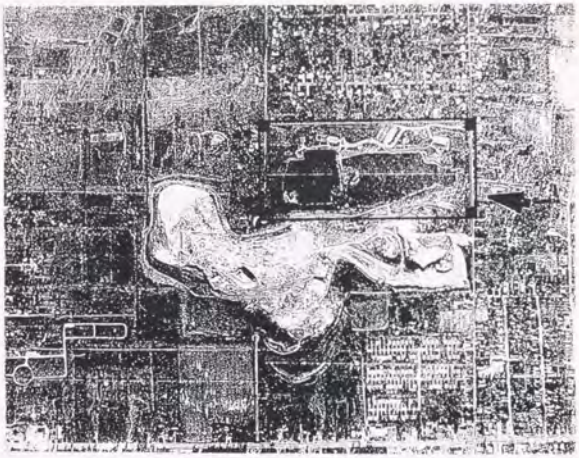
1 : 22000 x Mile



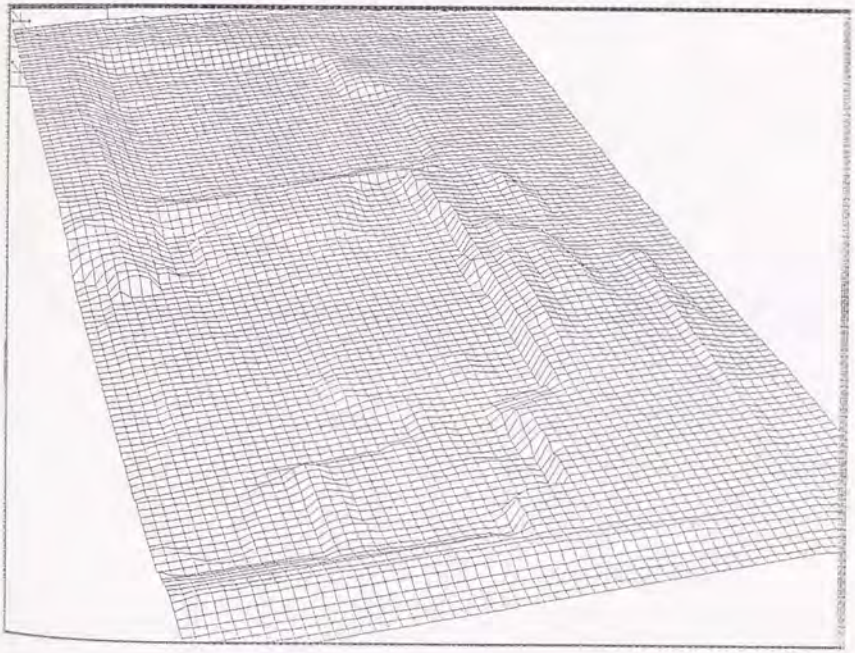
マディソン・レイク公園 採石跡地

図ⅡB-47c

1990



ノースケール



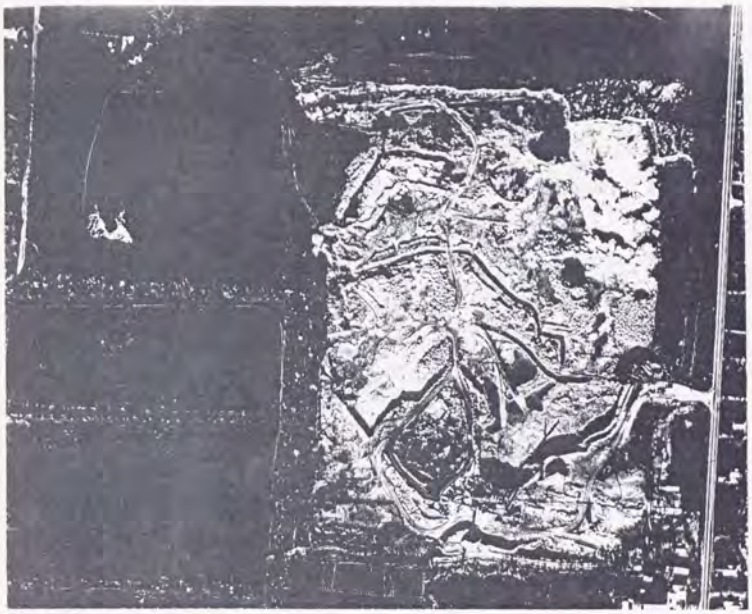
マディソン・レイク公園　土地再生後

図ⅡB-47d

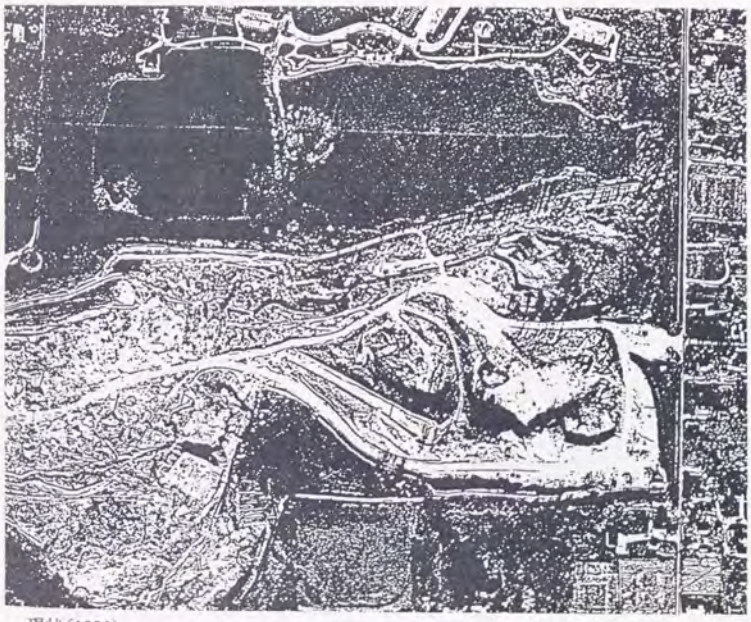
GEOLOGIC MAP AND CROSS SECTION OF OHIO

オハイオ州の岩盤層地勢図
(枠内はモントゴメリー郡)

図 II B-48



第Ⅱ採石場操業中の敷地(1972)



現状(1990)

マディソン・レイク公園

図ⅡB-49

東側湖水北岸より「アイランド」をみる　a

「アイランド」よりビジターセンターを見返す　b

マディソン・レイク公園
図 II B-50

東側湖水北東岸の採石が中断され残存したカギ型の地形　a

西側湖水南西岸　トラック斜路であった部分　b

マディソン・レイク公園

図ⅡB-51

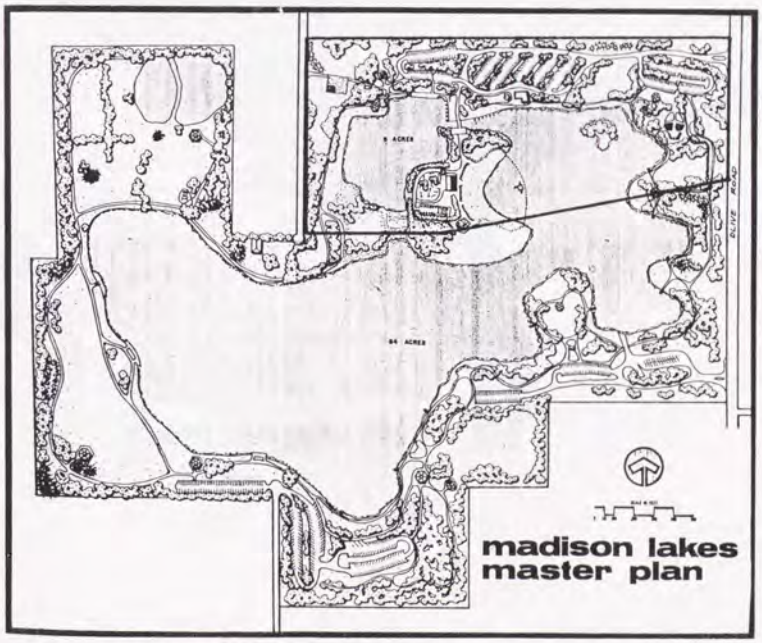
ビジターセンター周辺は敷地の石灰岩で意匠されている　a

マディソン・レイク公園南側の操業中の採石場切羽面　b

マディソン・レイク公園

図ⅡB-52

a

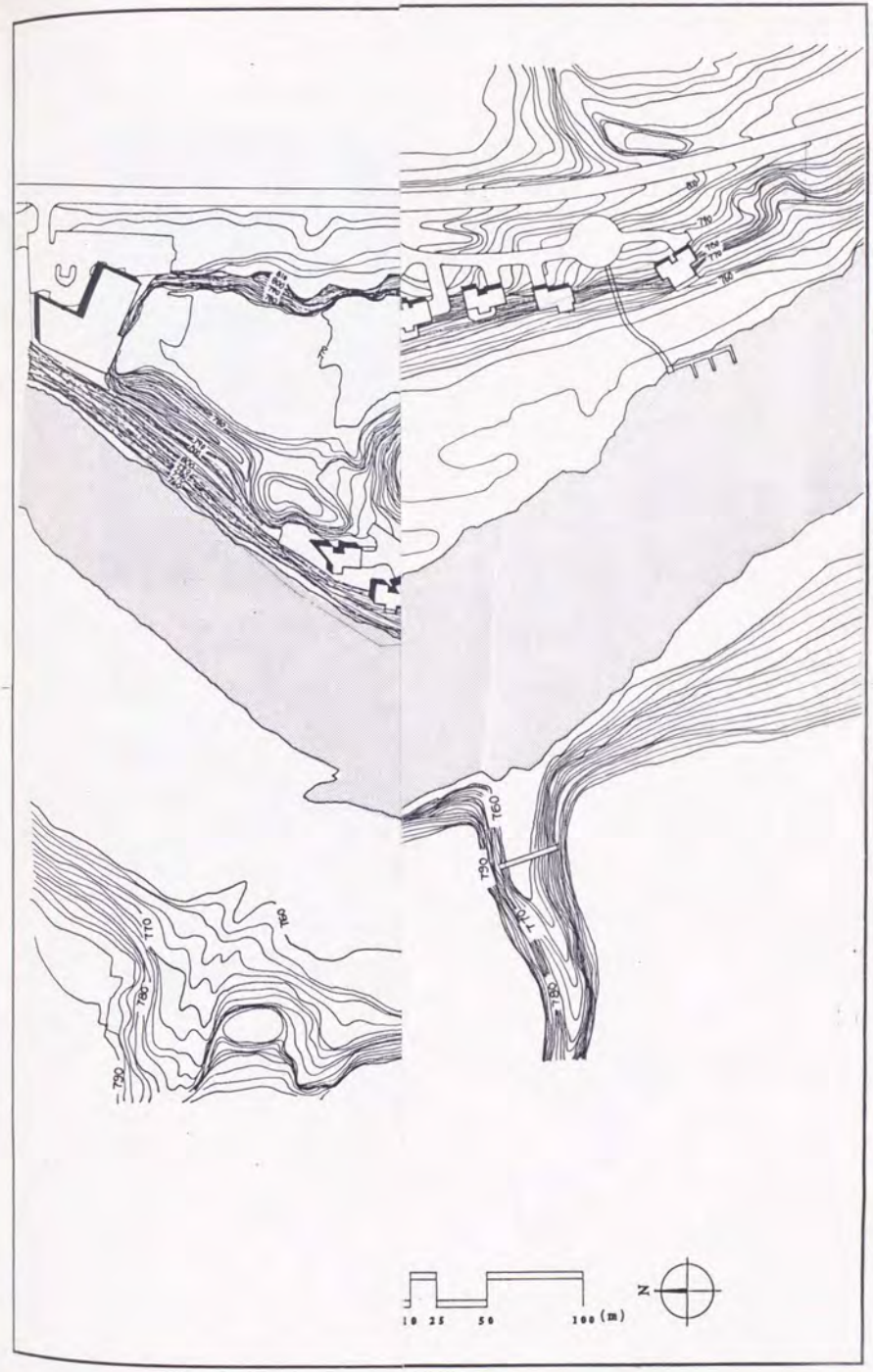


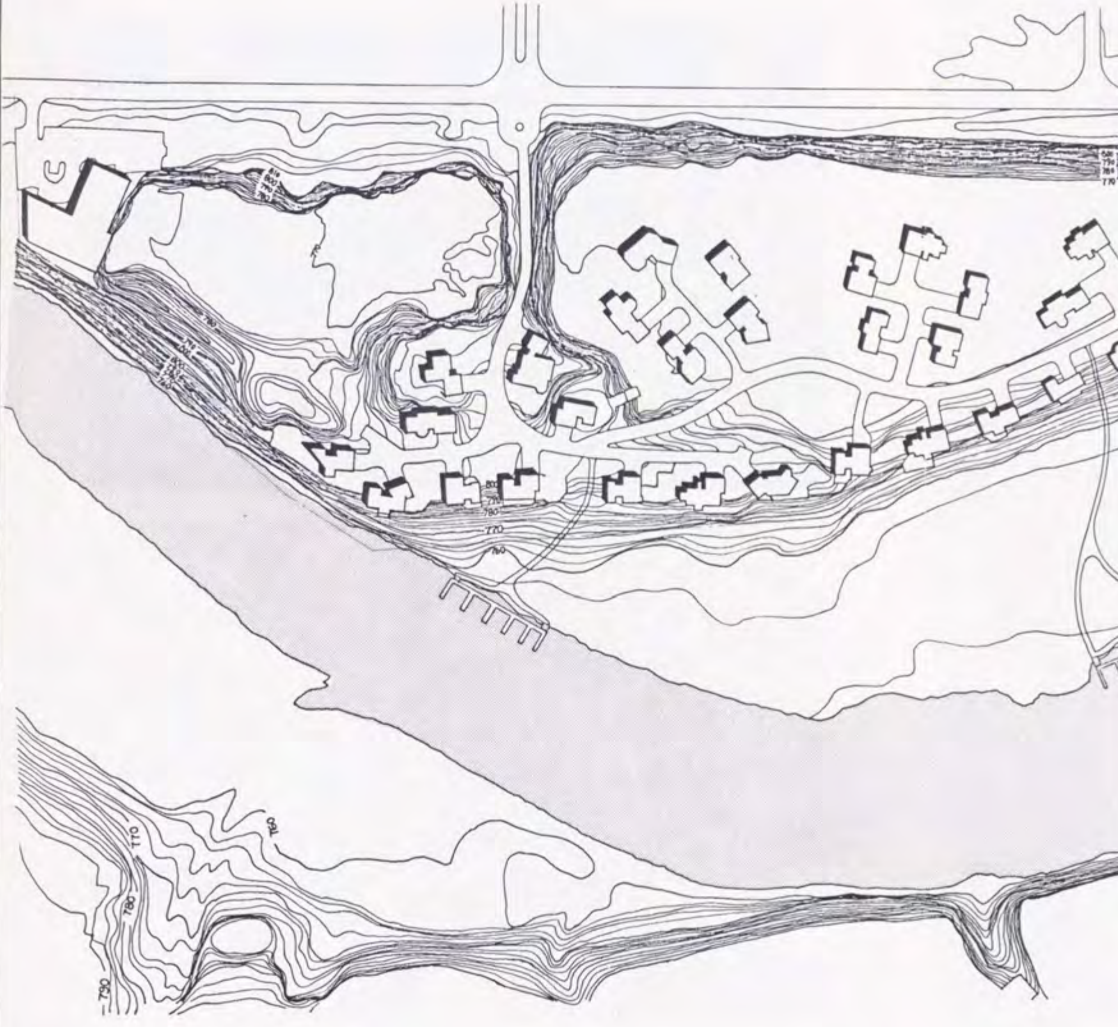
現在操業中の南側採石場も含めた土地再生計画

b

マディソン・レイク公園

図 II B-53


N
10 25 50 100 (m)

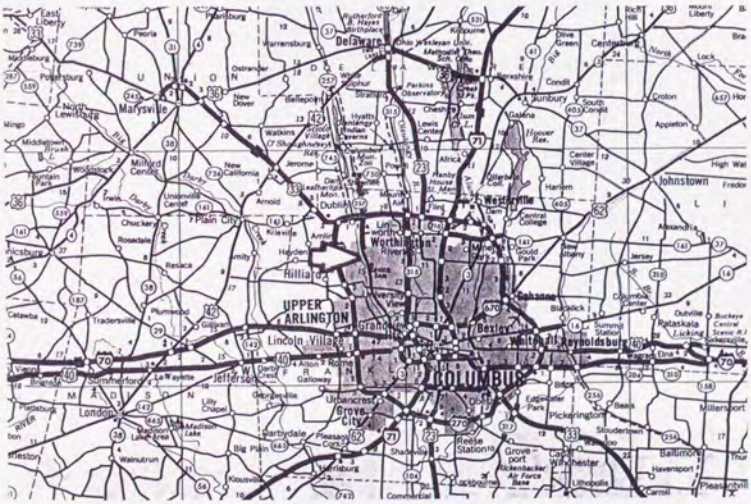


ザ・クオリー　　Quarry at the Rivers

図ⅡB-54

クオリー
Quarry at the Riverside / The Quarry on the Scioto
0 10 25 50 100 (m)
N

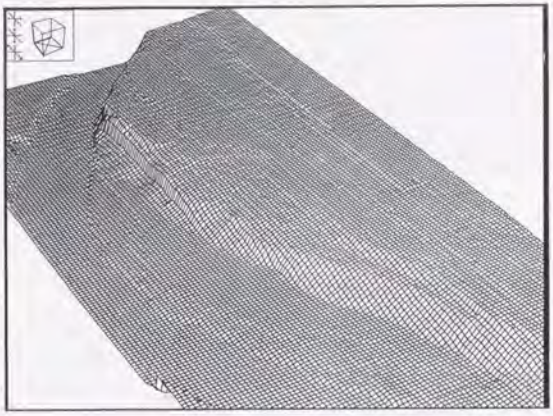
図 II B-54



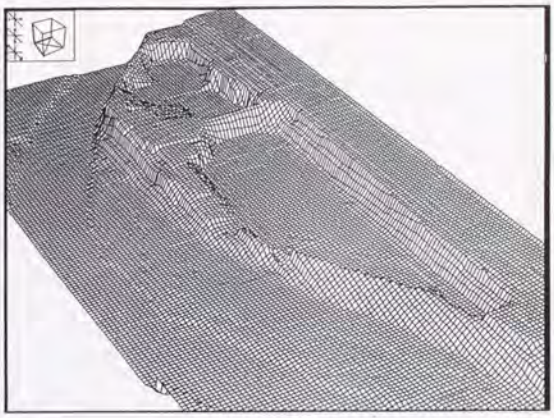
ザ・クオリー

図 II B-55

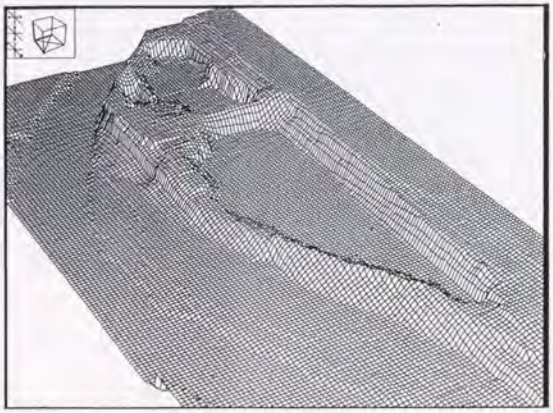
採石操業前



採石跡地



土地再生後

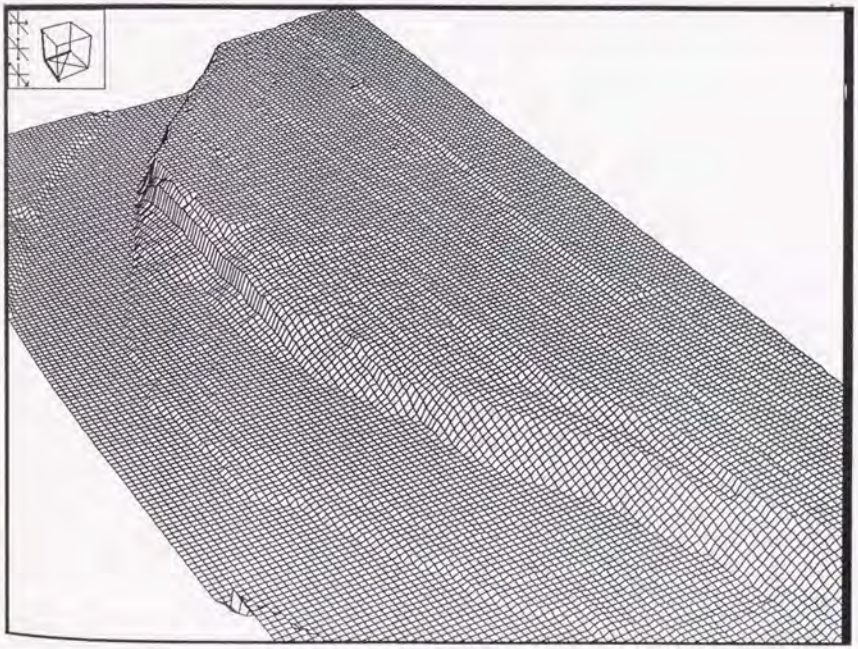


ザ・クオリー

図ⅡB-56a

1949

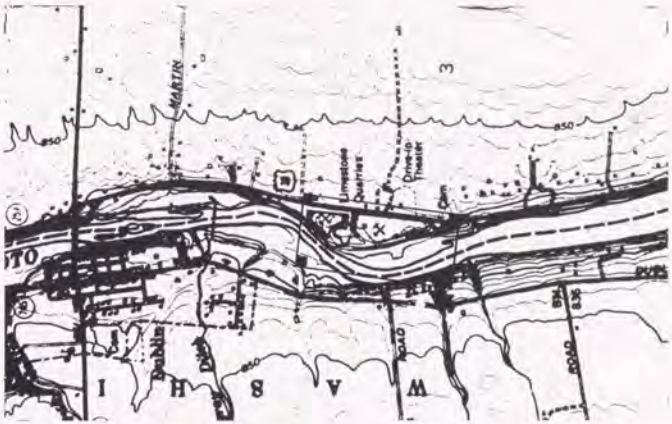
1：24000



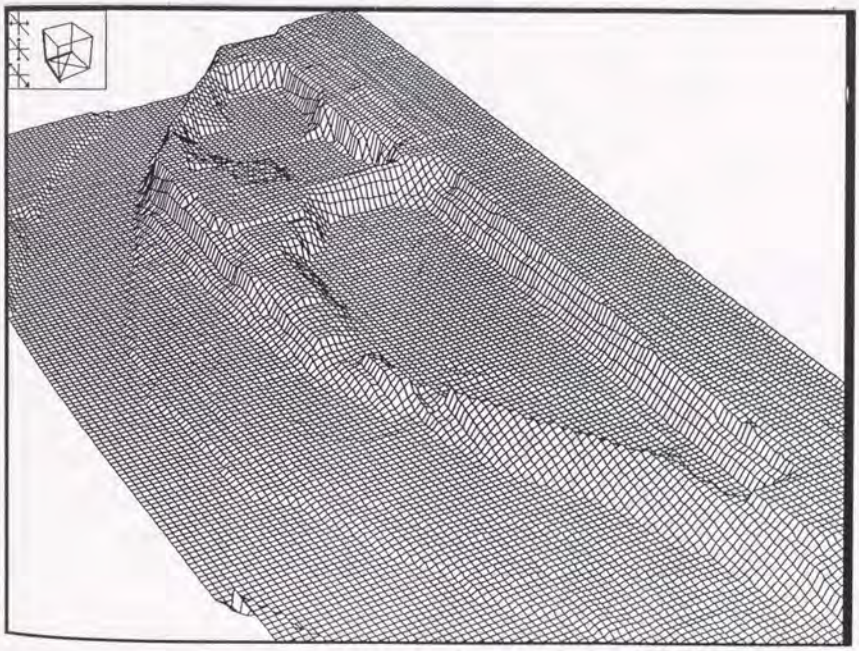
ザ・クオリー　採石操業前

図ⅡB-56b

USGS
1955



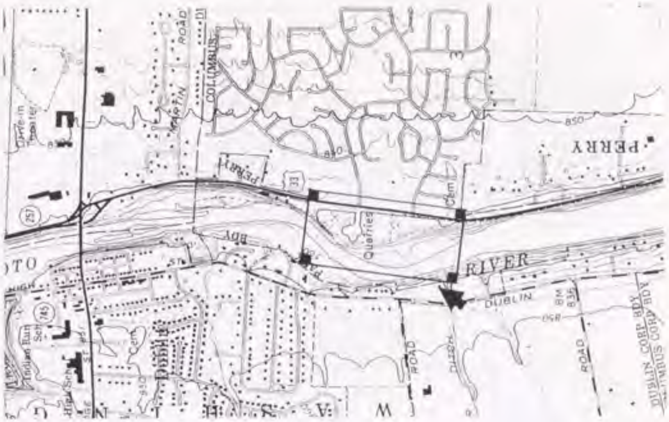
1：24000



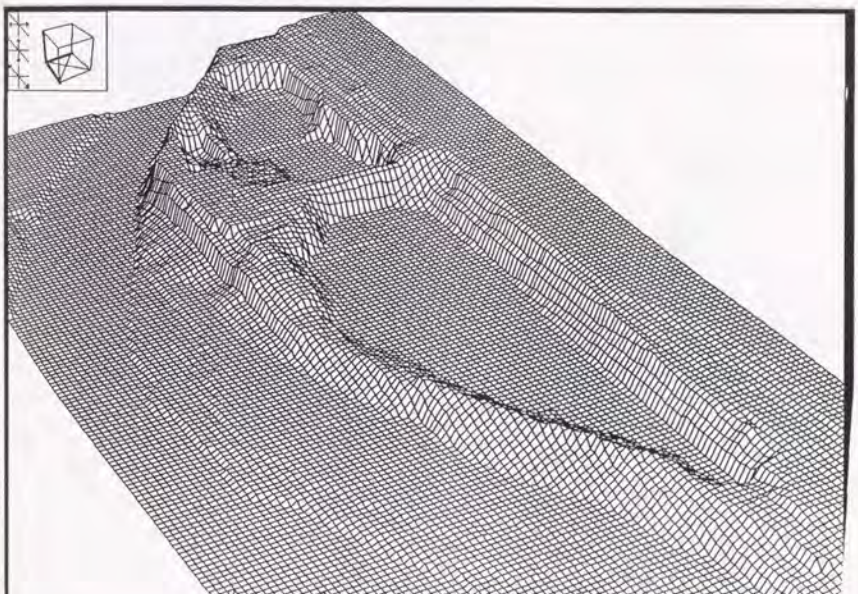
ザ・クオリー　採石跡地

図ⅡB-56c

USGS
1988



1 : 24000



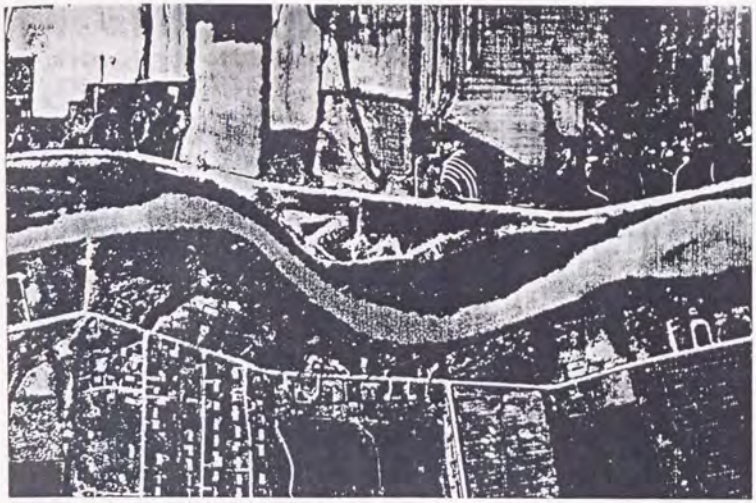
ザ・クオリー　土地再生後

図ⅡB-56d

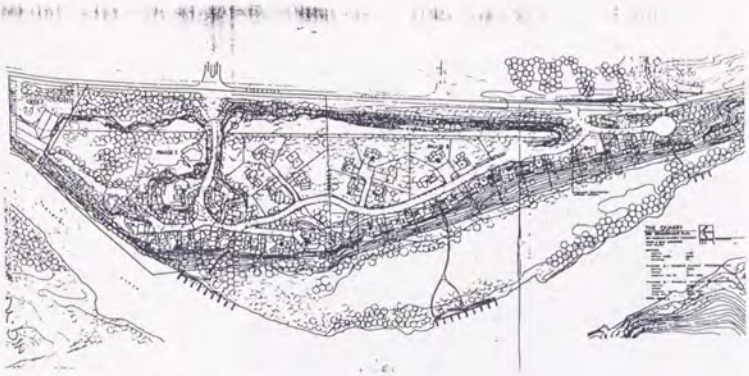
GEOLOGIC MAP AND CROSS SECTION OF OHIO

オハイオ州の地勢

図ⅡB-57



J＆L　スヌーファー社　採石操業中の敷地(1949)



土地再生初期計画案

ザ・クオリー

図ⅡB-58

敷地北側のオフィス棟を採石場内の
アスレチック・フィールドより見上げる

a

進入路「ブリッジ」

b

ザ・クオリー

図ⅡB-59

「ブリッジ」より南側住宅区をみる　a

切羽面を背景とする住宅区　b

ザ・クオリー

図ⅡB-60

敷地南側より北をみる

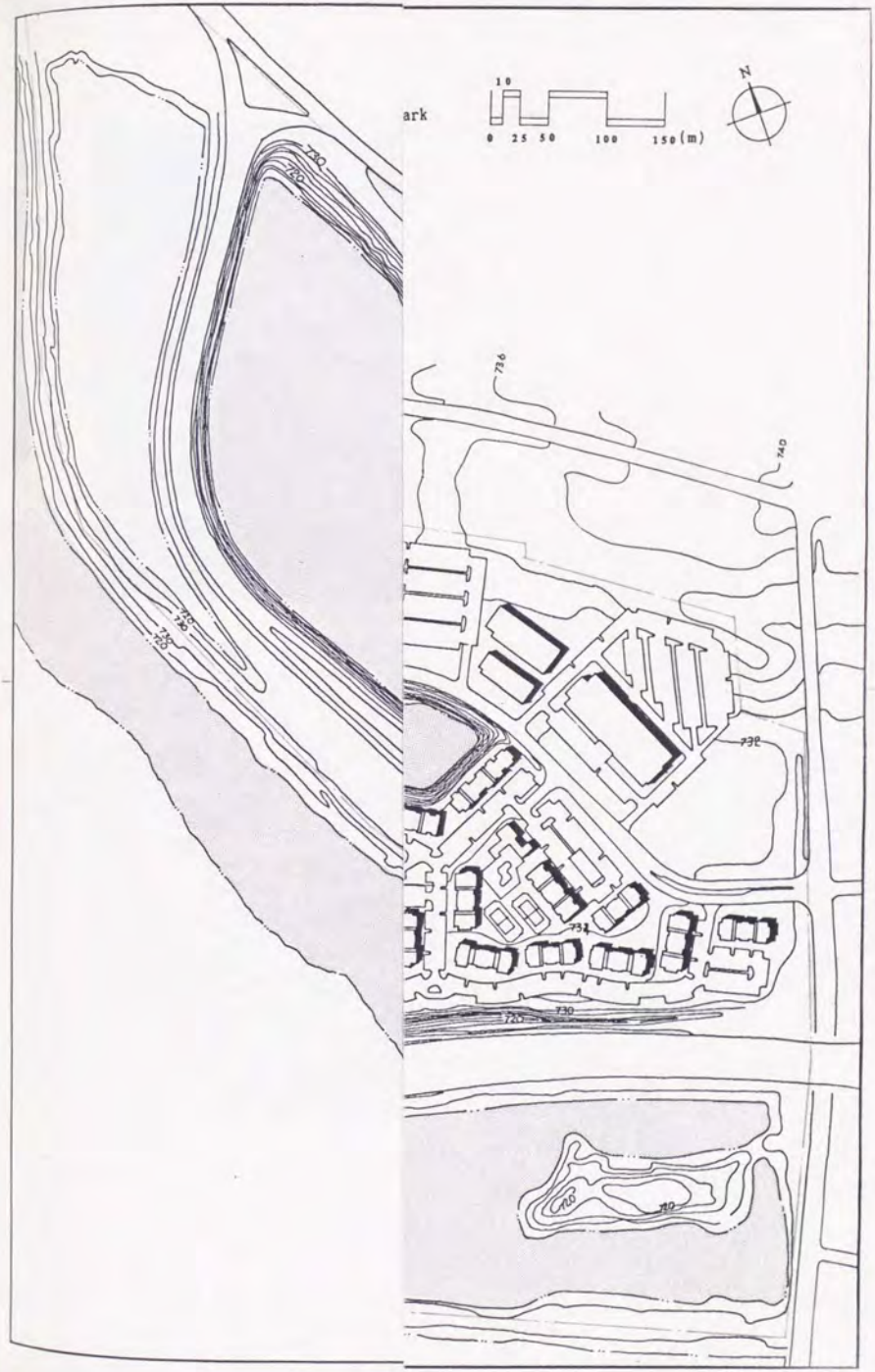
a

保存されている「オールド・クオリー・ハウス」

b

ザ・クオリー

図 II B-61


ark
10
0 25 50 100 150 (m)
N
730
740
736
740
738
734
730
720
740
740
740
740
740

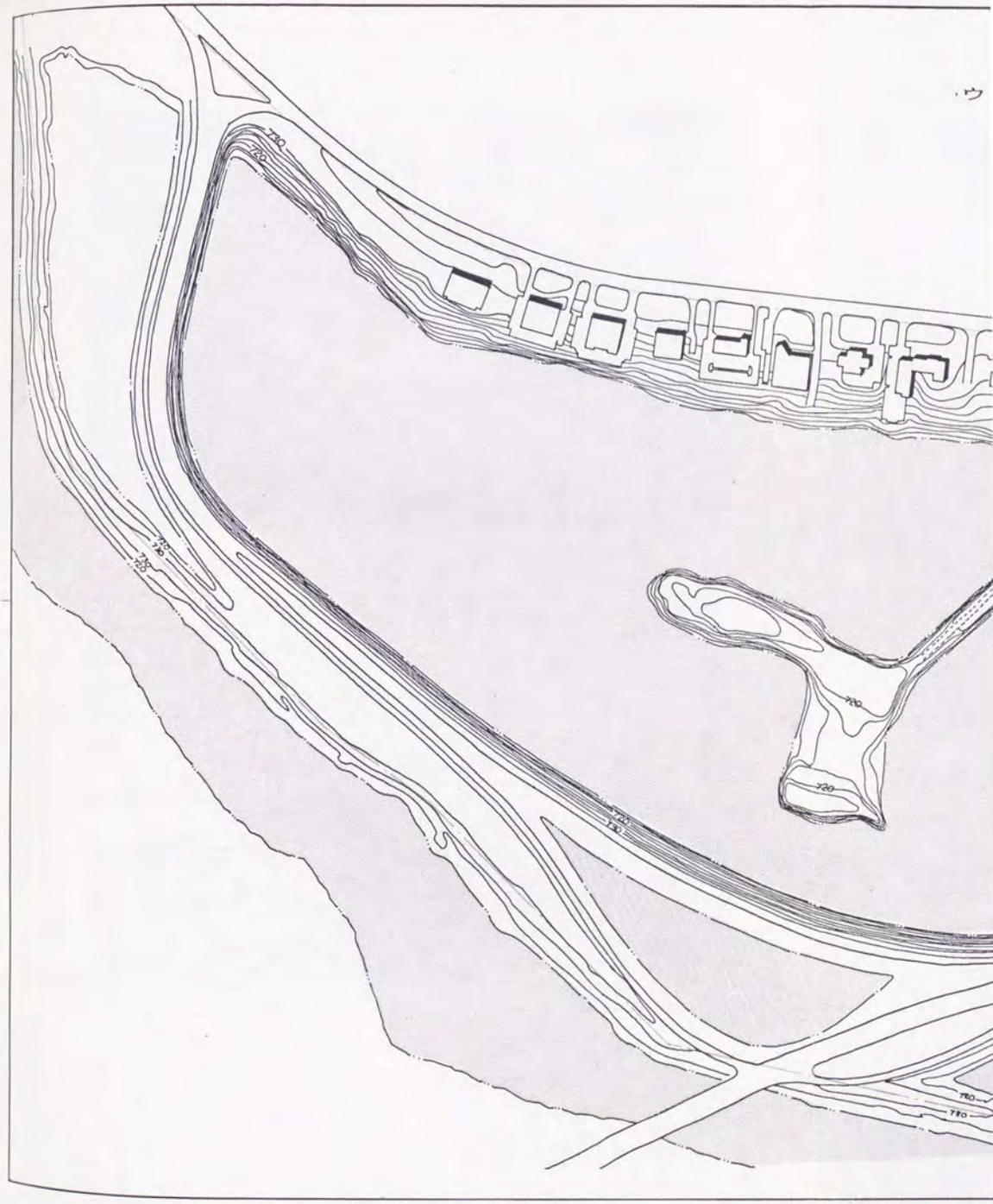


図 II B-62

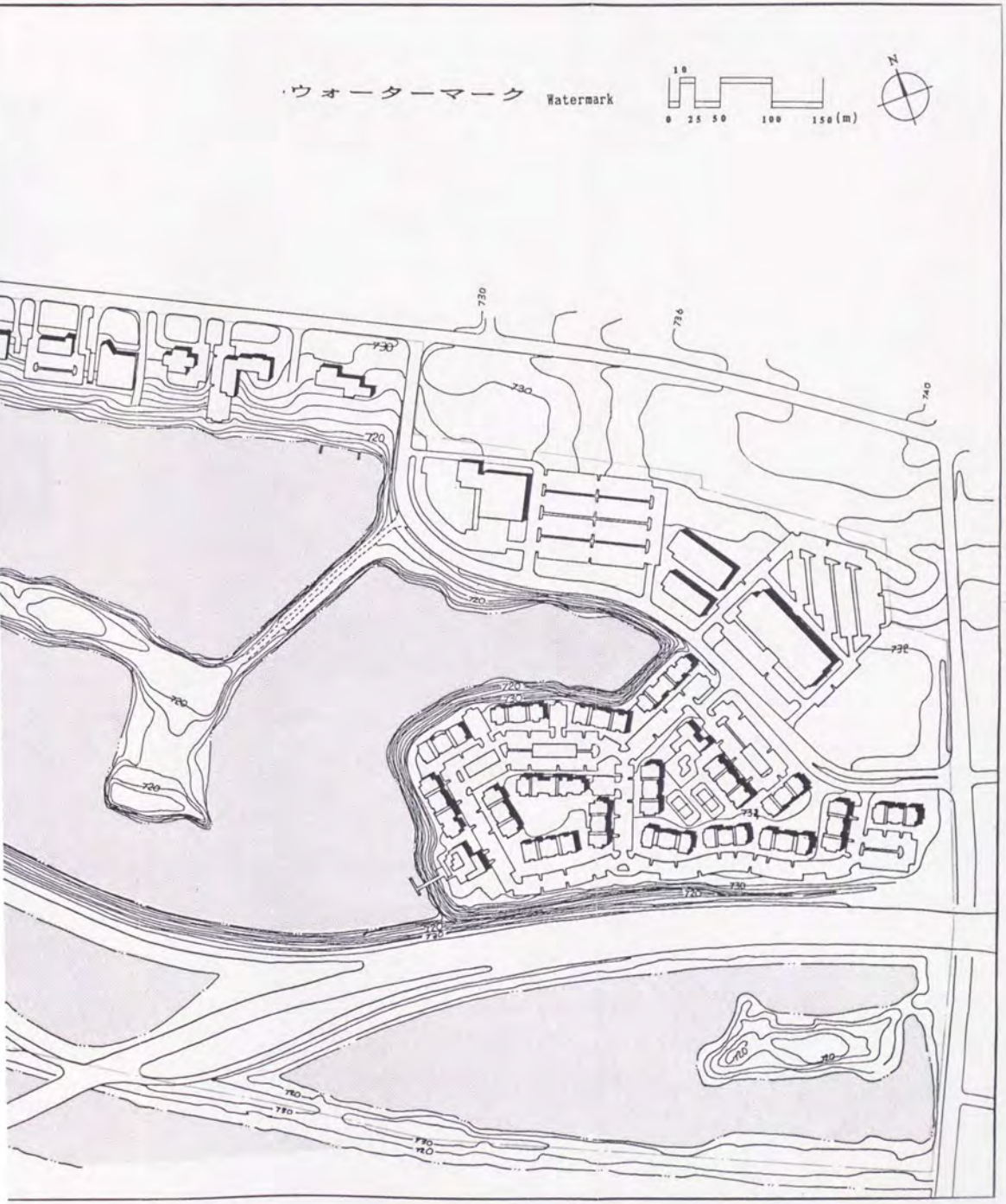
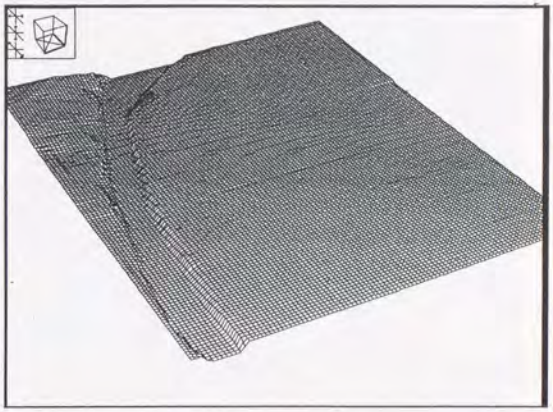


図 II B-62

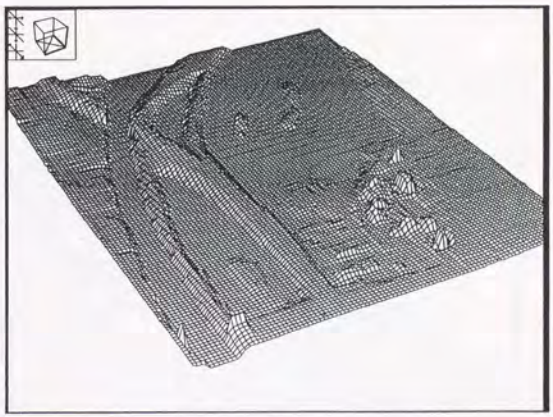
ウォーターマーク

図ⅡB-63

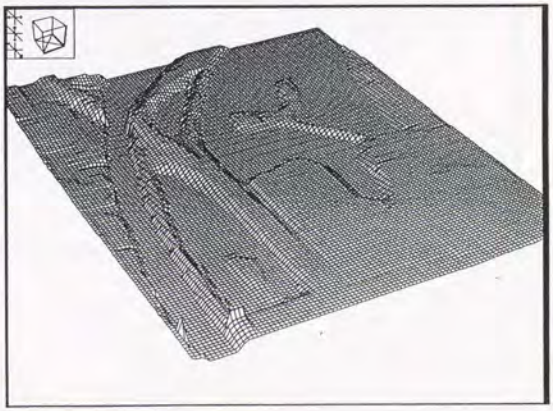
採石操業前



採石跡地



土地再生後

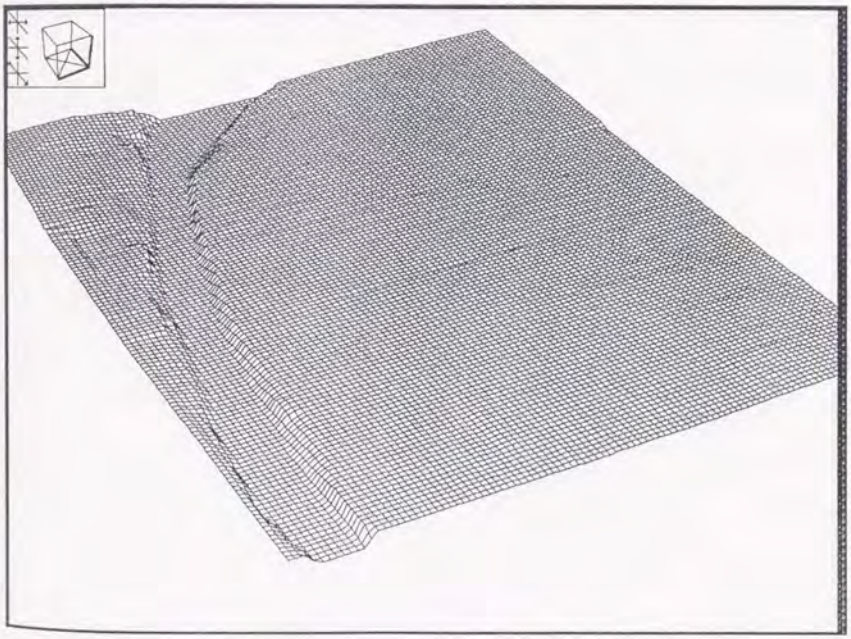


ウォーター・マーク

図ⅡB-64a

1938

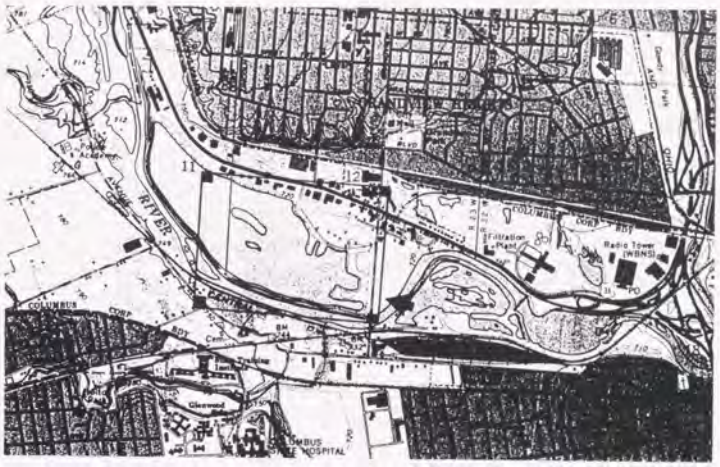
ノースケール



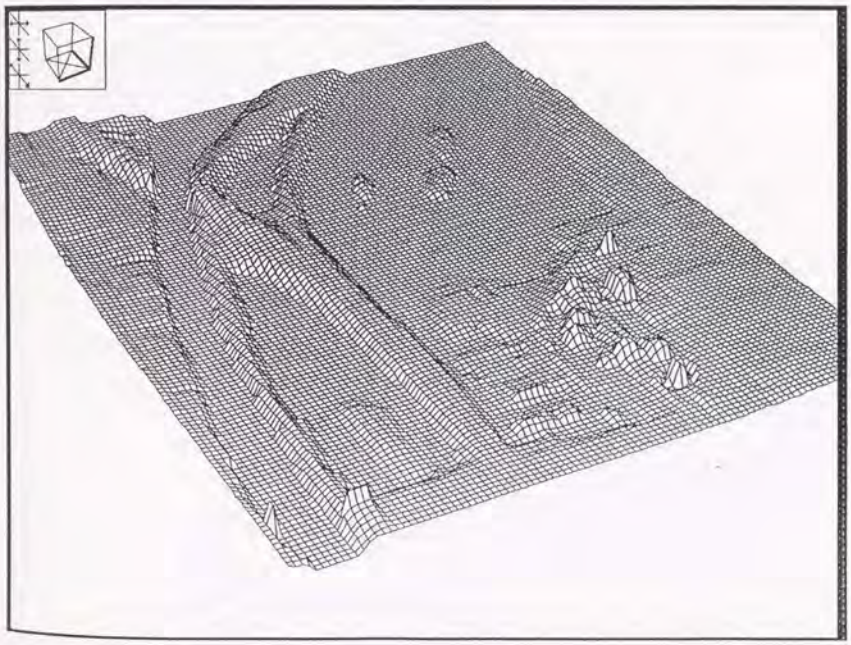
ウォーター・マーク　採石操業前

図ⅡB-64b

USGS
1965



1 : 35000



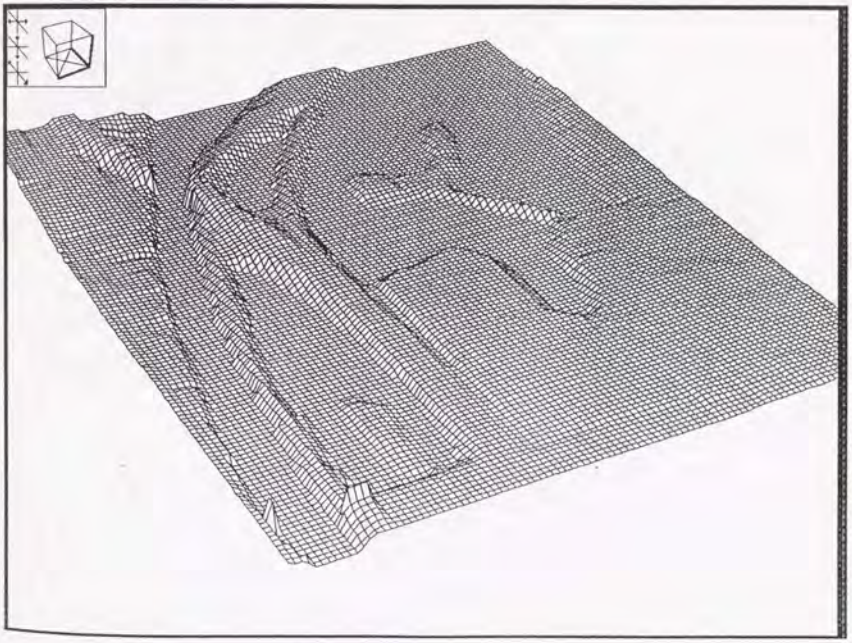
ウォーター・マーク　採石跡地

図Ⅱ B-64c

USGS

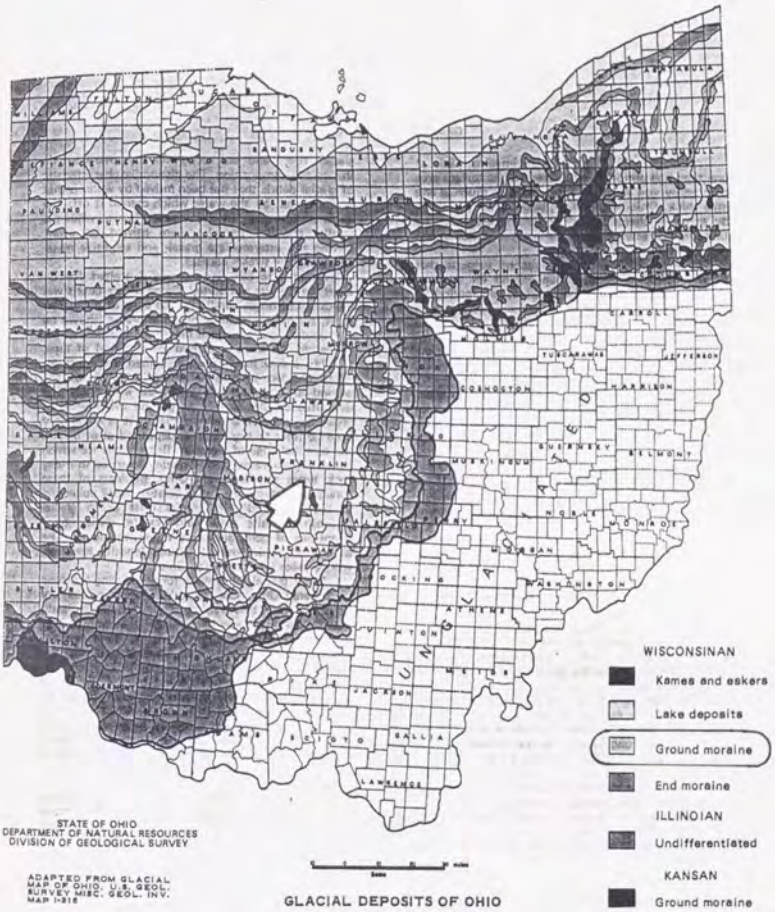
1984

1 : 35000



ウォーター・マーク　土地再生後

図ⅡB-64d



オハイオ州の氷河　石層の分布
（矢印はウォーターマーク敷地位置）

図 II B-65

採石開始前の敷地　アーリントン・ゴルフ・クラブ(1938)　a

グランドビュー採石場の跡地(1975)　b

ウォーターマーク

図 II B-66

採石操業末期のグランドビュー採石場(1974)

第Ⅱ期土地再生計画「ウォーターマーク・アーバー」を開始した敷地(1988)

ウォーターマーク

図ⅡB-67

集合住宅「ウォーターマーク・アーバー」 a

奥にオフィスパーク計画「ウォーターマーク」をみる b
水際線を囲む連続する斜面

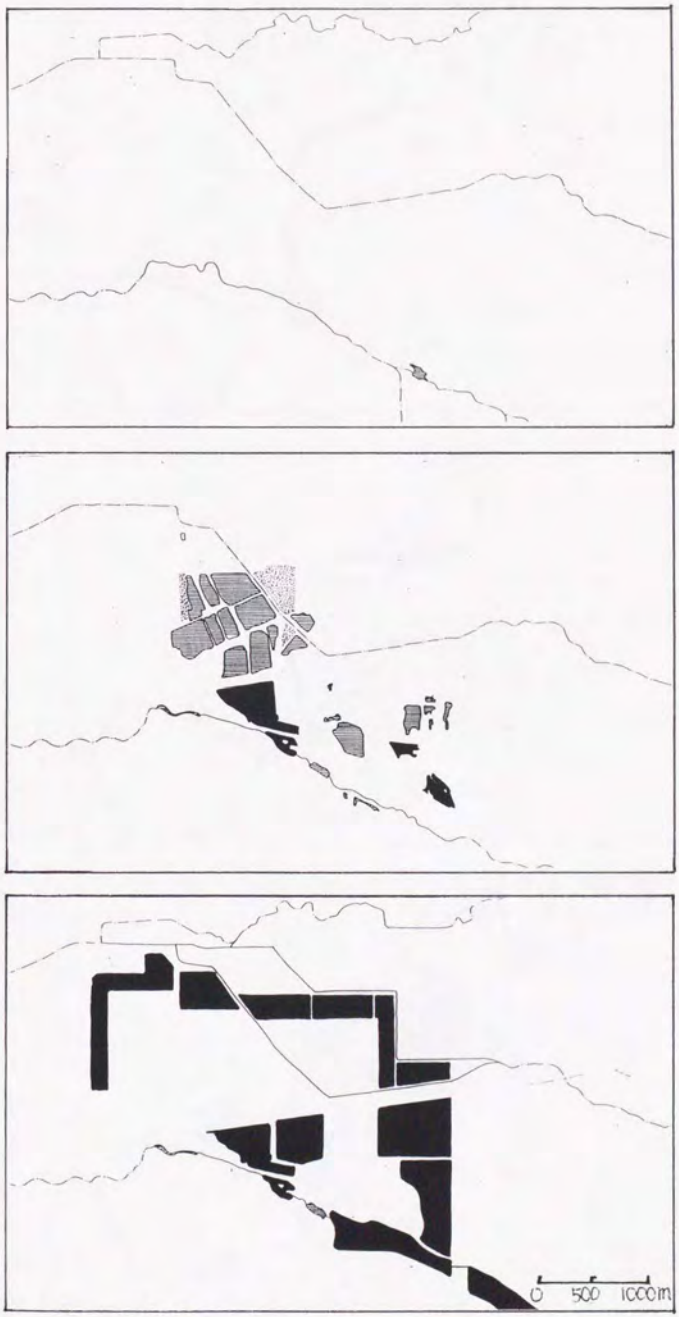
ウォーターマーク

図 II B-68

右に「ウォーターマーク・アイランド」、奥にＩ－６７０をみる

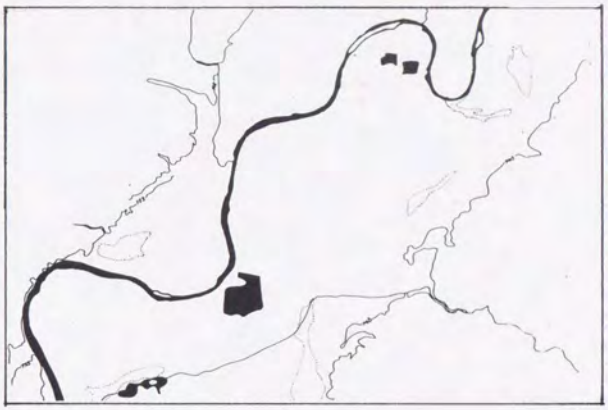
ウォーターマーク

図ⅡB-69



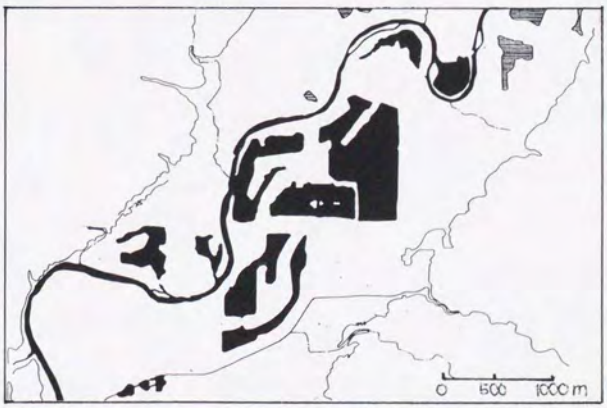
採石による湖水要素発生の過程 リバモア・アマダ・バリー盆地（CA）

図ⅡB-70



1952

1967



1985

採石による湖水要素発生の過程 インディアナポリス（IN）、ホワイト・リバー周辺